

学校再編計画(案)についてのパブリックコメント意見一覧

No	区分1	区分2	該当ページ	意見・提言(概要)	市の考え	計画への反映
1	I 計画策定にあたって	1学校規模等の現状及び課題	2 ①小中学校の児童生徒数及び学級数(通常学級)の推移	小学校は6年後、中学校は12年後の推計児童・生徒数を計上されていますが、少なくとも大きな予算規模を伴う事業ですので、今後20年程度の予測が必要ではないでしょうか。それとも統合ありきで、とりあえずの予測でしょうか。	平成30年度に策定された柳川市人口ビジョン(第2期)については、令和22年(2040年)までが対象期間となっていますが、平成23年(2011年)から平成29年(2017年)までの住民基本台帳の変化率に基づいて算出されていることから、現在の人口と誤差が生じており、市全体としては人口ビジョンより人口減少が進んでいます。したがって、今回の計画においては、できるだけ実測に近い数ということで令和4年4月11日現在の住民基本台帳における年齢別の人口をもとに推計しています。	なし
2	I 計画策定にあたって	1学校規模等の現状及び課題	2(1柳川市の学校の現状)	①2021年3月23日「柳川市立小・中学校の今後の在り方について(答申)柳川市立学校適正規模・適正配置化検討委員会」(p2)「2.柳川市がめざす学校づくりに向けて(1)柳川市の学校の現状①小中学校の児童生徒数及び学級数(通常学級)の推移・児童生徒数は、「学級編成5月1日現在調査」(H24、R2)及び「第2次柳川市総合計画後期計画策定に係る基礎調査資料(人口ビジョン)」(平成30年度)に示す、柳川市独自推計による学区別・年齢別の人口推計結果(R12、R22)を活用する。」とある。「柳川市立学校適正規模・適正配置化検討委員会」答申の児童生徒数将来推計の基礎資料を無視していないか。	平成30年度に策定された柳川市人口ビジョン(第2期)については、令和22年(2040年)までが対象期間となっていますが、平成23年(2011年)から平成29年(2017年)までの住民基本台帳の変化率に基づいて算出されていることから、現在の人口と誤差が生じており、市全体としては人口ビジョンより人口減少が進んでいます。今後起こる要因によって予測と異なる結果となる場合がありますので、実際の人口推移も見守りながら、計画を進めていく必要があると考えています。	なし
3	I 計画策定にあたって	1学校規模等の現状及び課題	2(1柳川市の学校の現状)	②2022年8月31日の9月議会一般質問において児童生徒数の推計値について教育長は「人口ビジョンと実際の数値の両方をもとに10年後20年後に問題が出てくればその都度検討していきたい。」という答弁であった。これでは柳川市の教育の将来を大きく左右する再編計画であるのに、長期的展望が揺らいでいることを自ら認めることになっていないか。	平成30年度に策定された柳川市人口ビジョン(第2期)については、令和22年(2040年)までが対象期間となっていますが、平成23年(2011年)から平成29年(2017年)までの住民基本台帳の変化率に基づいて算出されていることから、現在の人口と誤差が生じており、市全体としては人口ビジョンより人口減少が進んでいます。今後起こる要因によって予測と異なる結果となる場合がありますので、実際の人口推移も見守りながら、計画を進めていく必要があると考えています。	なし
4	I 計画策定にあたって	2学校再編の必要性	6 (2学校再編の必要性)	保育園世代でそろそろ柳川に家を建てようとしていた方や、親と住むために柳川に戻ろうと考えていた世代の一部の方は、残念ながらこの策により柳川市外への転出や、戻ってくるのを躊躇するという話も聞いている。その手の策は、早め早めに手を打つより、対処療法が良い。例えば、3年以内に1学年10人を切ると見込まれた小学校は順次合併でいいのではないか。過疎化を加速させる策はやめてほしい。市長が言うような子育て支援こそ早め早めの対策をすべきで、それは他の市町よりよい子育て支援策があつてこそ、若い世代が柳川を居住先として選んでもらうことに繋がる。	複式学級になりそうな学校を順次合併する方法をとった場合、合併する相手先の学校が必要になりますので、同じ学校の児童生徒が何度も学校統合を経験することになりかねず、子どもたちへの影響が大きくなってしまいます。また、再編にあたっては、今後継続して利用する学校設備を優先して補修する必要があり、改修等には国の補助金等を利用する予定のため、計画的に学校再編を進めなければ財源を確保することができません。今後の柳川市の教育環境を計画的に整備するためのものです。	なし
5	I 計画策定にあたって	2学校再編の必要性	6 (2学校再編の必要性)	地域から小学校がなくなったところが、どのようになっているのかを調査したのか。柳川市で城内周辺半径1キロ圏内は人口維持、微増が見込まれるが、現柳河、東宮永周辺は今後の子育て世代の新興住宅造成は見込めない。マンションや新興住宅の広告には必ず〇〇小学校まで〇分、スーパーまで〇分とある。小学校が近くにあるのは子育て世代には必須条件。地域から小学校がなくなれば限界集落、廃村のスピードが早くなる。	現在、柳川市で児童生徒数が増加、維持が見込まれているのは、藤吉校区や矢ヶ部校区であり、駅周辺の開発に伴うマンション建設のほか、アパートや分譲地があることから子育て世帯が増えていきます。一方、柳河校区や城内校区といった市の中心部であっても、子どもの数はここ15年ほどで40%近く減っています。これは、福岡市等の大都市圏でも同様で、例えば、博多・天神地区では人口は増えているものの、子育て世帯は減っていることから、児童生徒が大幅に減少し1学年1クラスになった結果、小学校の統合や小中一貫校の整備が行われています。ご指摘のとおり、子育て世代にとって小学校が近くにあることは利点です。しかし、市内の学校規模は徐々に縮小しており、全ての学年が1クラスの小規模な学校になり、更には複式学級の学年がでてくるようになりかねません。そのため、学校を再編統合し、一定の児童生徒、そして教職員を確保することで、よりよい教育環境を実現し、地域の子どもやその保護者が通わせたいと思うような学校づくりを行いたいと考えています。	なし

学校再編計画(案)についてのパブリックコメント意見一覧

No	区分1	区分2	該当ページ	意見・提言(概要)	市の考え	計画への反映
6	I 計画策定にあたって	2学校再編の必要性	(6(2学校再編の必要性))	小学校の再編計画には、反対です。教育も重要であるが、子の安全が最重要であり通学の安全を考え学校近くに土地家購入したものの、廃校となつては通学は遠くなり、より危険が増えてしまう。バス通学の案があるが、最近のバス事故を考慮すると安全とは考えにくい。子の安全を考え近年学校近くに引っ越ししてきた御家族に、しっかり説明してもらいたい。小学校を廃校してしまつては、その校区はさらに過疎化がすすんでしまうのではないか？ 子供の安全を考え学校近くに土地、家を購入したのに、廃校となつては、この土地を購入した意味がない。補償という考えはないのか？	ご指摘のとおり、子育て世代にとって小学校が近くにあることは利点です。しかし、市内の学校規模は徐々に縮小しており、全ての学年が1クラスの小規模な小学校がほとんどになっています。小規模校にもメリットがありますが、適正な規模の学校の様々な集団の中で、思考力や表現力等を育み、豊かな人間関係を築きながら社会性や協調性等を身につけることが子どもたちにとって重要であると考えています。そのため、学校を再編統合し、一定の児童生徒、そして教職員を確保することで、よりよい教育環境を実現し、地域の子どもやその保護者が通わせたいと思うような学校づくりを行いたいと考えています。	なし
7	I 計画策定にあたって	2学校再編の必要性	12(小中学校再編の見直し)	とても魅力ある小学校とは思いません。住みたい町、家を建てるなら考える時、子どもが安心、安全に行ける(通える)は必須条件です。東宮永、矢ヶ部には土地があり、ファミリー層が新居をかまえたり、移住者を受け入れられるのに近くの小学校に通えないのはデメリットです。柳川の人口減少の問題の解決の1つにもなると思います。子どもが安心安全に通える学校かどうかいま一度検討する時間を作って欲しいです。		
8	I 計画策定にあたって	2学校再編の必要性	6(2学校再編の必要性)	多くの児童生徒がいる環境で育てるのがよいという考えは昭和の考え方。OECDの小学校1クラスあたりの児童数は日本は世界トップクラス。つまり、柳川市はすでにヨーロッパの教育体制。それを35人クラスにすれば、そこそ昭和の時代のように、いじめが埋もれる可能性がでてくる。文科省が言う主体的対話的で深い学びというのは、大人数がいればいいということではない。ICTを活用すれば、日本中、世界中の人や多くの実業家とも繋がり、同世代の子たちともたくさんのディベートもできる。たくさんの児童がいることがいい環境ではない、ただの時代の逆行に過ぎない。施策の案には年配の意見のみではなく、若い世代の意見も拾って欲しい。少人数対策として、学校行事をできる限り、近隣校と合同で行うのは手であろう。クラスマッチや体育祭、その他、増やしていくことにより、平常授業は少人数という理想の教育環境になり、行事などは、近隣校と競い、また協力し合い行っていき、人や価値観の広がり育てる。バブル期の発想のハード面に力を入れるのではなく、ソフト面(工夫)に力を入れていくべき。	学校が統合されることで、子どもたちはいろいろな友人関係を築けたり、今より多くの先生と関わったりできるようになります。また、ひとつのクラスをグループに分けて少人数学習を行ったり、同じ学年の複数のクラスが合同で体育、音楽等の授業を行ったり、多様な学習形態をとることが可能になります。ご提案いただいた、近隣校との行事の合同開催には様々な良い点がありますが、練習や会場の準備・本番のため、児童生徒が移動しなくてはならず、移動方法や今までより短時間で開催する等の課題が考えられます。なお、OECD等の国際的な学習調査においては、今のところ、学級規模が学習の成果に与える影響より、教員の訓練や質のほうが子どもの学習の質に大きな影響を与えているのではないかと考えられています。学校規模を確保することで、教職員の数を確保できるようになり、結果、子どもたちへの教育の質を上げることに繋げられるのではないかと考えています。	なし
9	I 計画策定にあたって	2学校再編の必要性	3 ②学校規模の推移(小学校)	説明会では、旧三橋地区に1校、旧大和地区に2校が6年後複式学級になるようですが、その解消に向けての再編なのでしょう。現在進められている学校再編12~18学級は、教育的効果の点からでないことは、文部省の国会答弁からも明らかであり、WHO(国連の機関)は1学校100人を上回らない規模が、教育効果も上がると勧告し、世界の流れもそうなっています。 1966年のコールマン報告もそうです。 6年後に100人に満たなくなる5校についてのみ再編を検討すればよいのではないのでしょうか。再編すれば、財政的効果は大ですので、財務省は強力に進めています。	各国の教育制度は、義務教育の年数が異なり、小中高の学年設定も6・5・2制や5・3・4制などと様々な上、それぞれの教職員数も異なることから、学校規模だけで比較することは難しいところです。OECD等の国際的な学習調査において、学級規模が大きい日本が生徒の学習到達度調査(PISA)で高い成績を収めていることもあり、今のところ、学級規模が学習の成果に与える影響より、教員の訓練や質のほうが子どもの学習の質に大きな影響を与えているのではないかと考えられています。現在、日本の教員配置は学級数を基準に定められていることから、学校規模を確保することで、教職員の数を確保できるようになり、結果、子どもたちへの教育の質を上げることに繋げられると考えています。	なし
10	I 計画策定にあたって	2学校再編の必要性	5 (2)小規模化による課題	説明資料では、小規模校のデメリットとしてある、主体性、社会性、協調性、人間性、自己肯定感、意欲、競争心、社会への適応能力、自立心など、むしろ小規模校の方が生まれやすいので、世界では「小さな学校」が当たり前なのです。	小規模校にもメリットがありますが、今後の子どもたちが生きていくグローバル社会においては、相互に、相手の多様な価値観を認め合い、自分の意思や意見を適切に伝えるためのコミュニケーション能力が大切になってきます。適正な規模の学校の様々な集団の中で、思考力や表現力、判断力、問題解決能力などを育み、豊かな人間関係を築きながら規範意識をはじめとする社会性や協調性等を身につけることが重要であると考えています。このような視点から、今回の学校再編計画を作成したところです。	なし
11	I 計画策定にあたって	2学校再編の必要性	7(3再編の基準)	クラス替えが出来る環境を望んでいません。少人数でこそ築ける関係があるので、ひとクラスに不満はありません。ひとクラスにはひとクラスの良さがあります。		

学校再編計画(案)についてのパブリックコメント意見一覧

No	区分1	区分2	該当ページ	意見・提言(概要)	市の考え	計画への反映
12	I 計画策定にあたって	2学校再編の必要性	6(社会性、協調性も身に付けさせることが重要)	今までその様なことを教える担任はいなかった。社会性や協調性を身につけるのは、社会に出ないとわからない事。学校で教えても何もならない。社会はいろんな人がいて、それは、自分自身が体で感じないとわからない。先生が教えても役にたたない。	小規模校にもメリットがありますが、今後の子どもたちが生きていくグローバル社会においては、相互に、相手の多様な価値観を認め合い、自分の意思や意見を適切に伝えるためのコミュニケーション能力が大切になってきます。適正な規模の学校の様々な集団の中で、思考力や表現力、判断力、問題解決能力などを育み、豊かな人間関係を築きながら規範意識をはじめとする社会性や協調性等を身につけることが重要であると考えています。このような視点から、今回の学校再編計画を作成したところです。	なし
13	I 計画策定にあたって	2学校再編の必要性	その他	少ない人数こそ、先生の目がいきとどき、人数が多いほど、すぐみのがす!!昔も今も変わらない。2クラス、3クラスでもイジメはあった。でも、先生は見てみぬふり!!それが6年間あった人がいた。その時、その人はつらい思いをしてたけど、先生はよりそわない。35~40人になってイジメがあったら責任をとってもらわないと納得ができない。その事も意見言っただけど何も書いてなかったのですが。R7~の大和合併より1回で合併したら、いけないのですか??R7~の合併反対。行かせたくない。6年で合併は無理。今の小学校で卒業させたい。制服も教育委員会が出してくれるのですか?新しく買う金ないです。	各種研究では、学級規模や先生の数といじめ・暴力には、相関関係が乏しいとの結果が出ています。いじめの解決にあたっては、スクールカウンセラーなどの専門家を配置し、校長のリーダーシップの下、学校がチームになって対応することが重要です。今後、児童生徒や保護者ができるだけ不安を軽減できるよう、学校再編を含め、丁寧に情報発信しながら進めていきたいと考えています。なお、新設校の制服については、できるだけ保護者の負担にならないよう再編協議会(仮称)で話し合う予定です。	なし
14	I 計画策定にあたって	2学校再編の必要性	なし	そもそも柳川市は少子化対策が弱いので子どもを産み育てていこうと考える人が少ないと感じます。結婚する人、しない人がある中で、結婚する人が子ども1人ではなく3人、4人と産める手当があると良いと思います。2人目10万円、3人目20万円等。また児童手当も金額を増やして、それをアピールすることが大事だと思います。地方での少子化が進む中、福岡市では人口がどんどん増えています。やり方次第では筑後市や大木町のように「子育てしやすい街」として認識されれば住み着く人も増える気がします。また企業誘致や起業応援をもっと頑張ってもらえると柳川市で暮らす人も増えると思います。職住が近いことは子育て中には魅力的です。	第2次柳川市総合計画において「若い世代の希望を叶え、柳川市の子育て、暮らしに幸せを感じるひとづくり」を4つの政策目標のひとつとして掲げ、少子化対策には力を入れているところです。具体的には、安心して子育てができる環境づくりとして、一時預かり保育や病児・病後時保育、学童保育等の様々な保育サービスの充実のほか、子育て支援拠点「このゆびとまれ」を開館し、妊娠、出産、子育ての切れ目のない支援の一層の充実を図っています。また、国の施策により令和元年10月から幼児教育・保育の無償化が図られているところであり、柳川市独自施策としては「子ども医療証」の中学3年生までの交付を行っているほか、新婚世帯や45歳以下のマイホーム取得支援事業等、若い世代に向けた移住定住政策を行っています。このような中、教育委員会としては、学校再編を通して、地域と連携し、子どもたちの豊かな人間性を育むような新しい学校づくりを行っていきたくと考えています。	なし
15	I 計画策定にあたって	2学校再編の必要性	その他	年々子供の数が減っているのは、前から分かっている事だし、柳川にずっと住みたいと思える市づくりがなければ、人が増えるわけがない。まずその事から考えるべきと思わないのですか?医療関係も充実してない。まずは、合併より、どうしたら人口が増えて柳川に住みたいと思える市づくりを考えたら!!そこから考えないと子供が増えない。わかった事をやらない柳川がわるい。もっと他に出来る事はぜったいにあるはず…。今は合併よりコロナの事を考えて下さい。親が行かせたい!!と思える小学校、中学校をつくって下さい。	第2次柳川市総合計画において「若い世代の希望を叶え、柳川市の子育て、暮らしに幸せを感じるひとづくり」を4つの政策目標のひとつとして掲げ、少子化対策に力を入れているところです。このような中、教育委員会としては、学校再編を通して、地域と連携し、子どもたちの豊かな人間性を育むような新しい学校づくりを行っていきたくと考えています。	なし

学校再編計画(案)についてのパブリックコメント意見一覧

No	区分1	区分2	該当ページ	意見・提言(概要)	市の考え	計画への反映
16	Ⅱ 基本的な考え方	3再編基準(3)通学区域	1 (はじめに「指定校変更」)	再編の必要性は理解できます。ただ、地域が入り組んだ中で、特定の地域でより近い学校があり、「通学距離が近い」ことに対するニーズがこのように多くあることが明かです。多くの方が小学校が近いことでアパートを借り、マンション、自宅購入をしています。私自身も小学校から200mのところに家を建てました。再編で学校が遠くなることは受け入れます。しかし、指定校変更の理由に「通学距離が近い」ことも可能とし、そのニーズを予測した再編計画にして欲しいです。	説明会を行う中でも、保護者から同様の意見をいただいているところですが、その理由としては、学校を自由に選べるようになれば、同じコミュニティ内で異なる学校に通学する子どもが存在する状況になり、公民館活動など地域コミュニティの円滑な運営等に支障が懸念されるためです。地域が一体となって子どもたちを育てていただくような学校づくりを目指す上で、子どもが居住する地域と通学する学校が一致していることが望ましいと考えています。この課題については、今後の地域コミュニティと学校の関係構築にも関わってくるため、引き続き研究検討していきたいと考えています。	なし
17	Ⅱ 基本的な考え方	3再編基準(3)通学区域	1 (はじめに「答申」)	今回の再編計画では、数についての見込みや小中一貫校、義務教育校が入っていますが、R3年3月の「柳川市立小・中学校の今後の在り方について(答申)」にある「小規模特認校制度」についても「学校再編を基本として」検討が必要な点だと思います。答申で触れられている「基本的な学び、新しい学び」への対応からも、数だけでなく、柳川市の学校の課題から答申にある「今後の学校づくりに向けた基本方針」を踏まえた再編計画にして欲しいです。その見込みはどのようになっていますか。	小規模特認校は、ほかの学校にはない特色ある教育を行い、市内のほかの通学区域からも児童生徒を受け入れることで、小規模ながら一定の児童数を確保する制度です。一般的に、山間部や島しょ部など学校の立地に大きな特徴があり、地域住民が積極的に教育活動を支援できる地区に設置されます。ほかの校区から通学を希望した場合、遠方から保護者が送迎する等、毎日の通学負担が大きくなります。また、自分が住んでいる地域に同じ学校に通う子がおらず、同じ学校の友だちと帰宅後や休日に遊べないことが多くなります。そのため、本市の状況では、複式学級を解消できるほど希望者を確保することが難しいと考え、今回の再編計画においては小規模特認校を採用していません。	なし
18	Ⅱ 基本的な考え方	3再編基準(3)通学区域	8 (3)通学区域	現行の校区割で、最寄の小学校に通えない事態となっており、子供の負担として重いと考えております。最寄の小学校に通えるよう旧来の区割ではなく、新校区を検討して頂きたいです。	校区割りを学校位置を中心に再編成するのご提案ですが、例えば、単純に学校までの直線距離だけで校区を編成した場合、途中に川を挟む等の地理条件から実際の通学距離は遠くなる場所がありますし、また、行政区単位で区割りを変えた場合、行政区内で最寄の小学校が異なることがありますので、変更によって学校が近くなる人があったとしても、別の人にとっては遠くなる場合があります。更に、現在校区ごとに地区公民館やコミュニティセンターが設置され、校区単位でのまちづくりを推進していることから、地域コミュニティに大きな影響を与えることとなります。以上の理由から、今回の計画では既存の校区を分割せず、それぞれ組み合わせることで、新しい校区を編成しているところです。	なし
19	Ⅱ 基本的な考え方	3再編基準(3)通学区域	8 (3)通学区域	旧市町村の縛りが、自治会の運営のためというが、それにより、子どもが200mほどの近いところにある隣の小学校には行けず、1キロ以上離れた小学校へ行かなくてはならないことを解決せずに、「一人一人の子供のために、合併をしたい」というのが嘘くさい。また、バス通学は、今の子育て世代の対策にし過ぎない。現在、結構数の割合の主婦は、柳川市外から嫁いできてもらっている。その方々の意見にしっかり耳を傾けて欲しい。小学校が近くになく、バス通学をする地域には新しい家は建たない。また主婦は子供の通学を考えていない柳川よりも、小学校が近くにある久留米や福岡市周辺地域を選ぶ。結果ますます過疎化が進むのではないか。	現在、すべての学校でコミュニティスクールが運営されており、保護者や教職員だけではなく、地域が一体となって子どもたちを育てていただくような学校づくりを目指しているところです。特に、現在の小学校区は、各公民館やコミュニティセンターを核とする地域コミュニティ活動の基礎となっており、関係が大変深くなっています。その中で、公民館活動を始め、交通安全協会等の各種団体は、まだ旧市町ごとの支部で活動しているところが多くあります。ご指摘のとおり、今後、地域コミュニティのあり方を考えていく必要がありますが、学校のみ先行して変更するには大きな影響が発生します。そこで、今回の計画では既存の校区を分割せず、小学校においては旧市町を超えない組み合わせで、新しい校区を編成しているところです。	なし

学校再編計画(案)についてのパブリックコメント意見一覧

No	区分1	区分2	該当ページ	意見・提言(概要)	市の考え	計画への反映
20	Ⅱ 基本的な考え方	3再編基準(3)通学区域	8 3(3)通学距離	矢ヶ部小学校は藤吉校区をまたいで三橋中まで通うことになるのはあまりにも子どものことを考えられていないのでは？東宮永も城内よりも柳南中の方が近いです。経費を削減するといいいながら、バスを運用すれば新たな経費を生じることになります。校区外登校が選択できないのなら、コミュニティを再編し、校区を新しく作るべきです。	矢ヶ部小については、ニッ河小・垂見小・中山小の3校のみでは今後1学年1クラスとなり、(仮称)三橋小が適正規模を維持することが難しくなるため、今回の計画としているところです。なお、すべての校区を新しく再編するとして、例えば、単純に学校までの直線距離だけで校区を編成した場合、途中に川を挟む等の地理条件から実際の通学距離は遠くなる場所がありますし、行政区単位で区割りを変えた場合、行政区内で最寄の小学校が異なることがあります。また、現在校区ごとに地区公民館やコミュニティセンターが設置され、校区単位でのまちづくりを推進していることから、地域コミュニティに大きな影響を与えることとなります。以上の理由から、今回の計画では既存の校区を分割せず、それぞれ組み合わせることで、新しい校区を編成しているところです。	なし
21	Ⅱ 基本的な考え方	3再編基準(3)通学区域	(8)((3)通学区域))	城内、柳河、矢ヶ部、藤吉小学校は、距離的に近いところにあり、その校区を一つの小学校にできないのか？東宮永は、通学を考え柳河、城内より矢留、両開のほうががてきせいでは、ないか？	藤吉小は今後も適正規模を維持できることから、今回再編しないことに計画案を修正したところです。また、矢ヶ部小については、再編後の(仮称)三橋小が適正規模を維持するために必要と考えています。なお、(仮称)柳南小については、3年後の令和7年度を目途に計画の再検討を行う予定です。	なし
22	Ⅱ 基本的な考え方	3再編基準(3)通学区域	16(仮称)蒲池学校について	発達障がい等の個別指導が必要な児童生徒については、小規模学級小規模学校である蒲池学校を「通学区域特区」として、校区外からも通学できるようにしたらどうか。	ご意見として承り、今後、児童生徒にとってよりよい教育環境となるよう検討してまいります。	なし
23	Ⅱ 基本的な考え方	3再編基準(3)通学区域	なし(その他)	三橋中・大和中の統廃合の中学校と柳南中と柳城中の統廃合の中学校、(仮称)大和小と(仮称)柳南小のようにクラス数・全校人数の差が大きい点や統廃合の規模の人数で本当に施設利用が可能かという事も含め、旧市町村を越えた組み合わせも再検討の必要があるのでは。統廃合を機会にクラス数・全校人数に大きな差がでないようにするべきでは。	現在、すべての学校でコミュニティスクールが運営されており、保護者や教職員だけでなく、地域が一体となって子どもたちを育てていただくような学校づくりを目指しているところです。そのため、学校と地域コミュニティは大変関係が深いため、小中学校の校区編成のみ先行して変更すると地域コミュニティにも大きな影響が発生します。また、児童生徒数が均等になるように編成した場合、場所によっては校区が大幅に広がってしまいます。そこで、今回の計画では既存の校区を分割せず、小学校においては旧市町を超えない組み合わせで、新しい校区を編成しているところです。	なし
24	Ⅱ 基本的な考え方	3再編基準(4)学校施設の設備	8(学校施設の整備について)	施設の新設、整備をする際には、実際にそれらを使用する教職員から意見を聞くべきである。(理由)現在の施設の中には、とても使い勝手の悪い物が少なからずあるから。	施設整備に関しては、再編協議会(仮称)でも内容を確認する予定です。再編協議会は、教職員のほか、保護者や地域住民の代表者で構成される予定です。	なし
25	Ⅱ 基本的な考え方	3再編基準(4)学校施設の設備	8 3(3)通学距離	説明会で三橋中の階段の蹴上のことを質問されていたと思います。実際に何センチだったのですか？あわせて大和、柳南中の蹴上も調べられましたか？改修は可能なのか、その際の費用はいくらになりますか？	三橋中の蹴上は17.7cm、大和中は15.8cm、柳南中は17.5cmです。小学校として使用する際には、18cm以下であれば、手すりや滑り止めの設置で基準を満たすことができます。	なし
26	Ⅱ 基本的な考え方	3再編基準(4)学校施設の設備	8 3(3)通学距離	統合後の学校で何が必要になるのか全く示されていません。決定後に予算が足りない、敷地が足りず作れないでは致命的です。少なくとも、原案で合併後の学校に何が必要で、どれくらいかかるのかという試算を示してください。	今回の学校再編計画は、再編の期間や手法、基準等を定めるものです。施設整備については、学校を再編する時点では、できるだけ既存の設備を活用したいと考えており、その後、施設整備計画に基づき改築等を進めていく予定です。	なし
27	Ⅱ 基本的な考え方	3再編基準(4)学校施設の設備	なし	再編にどのくらい予算がかかるのか、それぞれの学校に整備におおよそいくら必要なのか全くわかりません。予算無しの校区決定はありません。決定後できないとわかれば致命的です。編成後の学校に何がどれだけ必要かできるだけ具体的に示してください。設備として使えるという根拠を明確に示してください。		なし

学校再編計画(案)についてのパブリックコメント意見一覧

No	区分1	区分2	該当ページ	意見・提言(概要)	市の考え	計画への反映
28	Ⅱ 基本的な考え方	3再編基準(4)学校施設の設備	8((4)学校施設の整備)	小中学校のプールは建設しなすのかどうか書いてほしい。	学校のプール整備は大きな課題ですが、今回の学校再編計画は、再編の期間や手法、基準等を定めるものです。学校を再編する時点では、できるだけ既存の設備を活用したいと考えており、その後、施設整備計画に基づき施設の改築等を進めていく予定です。	なし
29	Ⅱ 基本的な考え方	3再編基準(4)学校施設の設備	2(1学校規模等の現状及び課題) 19(再編スケジュール)	再編し、合併することに関しては異論はありません。蒲池小、蒲池中が2番目に順番がきているのはなぜでしょうか。児童数も他と比べるとそんなに少なくはないと思います。義務教育学校を先に！と考えられているようですが、明確な理由が分かりません。私の子供が通っている矢留小でいいますと、この夏、4年生も1人減り、来年度からは1クラスになることが決定しているようです。5年生からの大事な時期に35人、他学年でも、現5年生が2クラスだけで他は1クラスのみです。三橋小になる予定の4校も他の小学校よりも人数は少ないのになぜ後回しにされるのでしょうか。②③をあとにして、柳南小学校や三橋小学校の再編のスケジュールを早めることを求めます。待たなしの状態はどこも一緒だと思いますが、切実に困っている箇所から進めるべきだと思います。新しい試みをして状況をみたいから義務教育学校を先にしているようにしかみえません。どこが市民の意見を聞いているのでしょうか。	学校再編にあたって、新設校の整備が必要です。整備にあたっては、市の予算のほか、過疎対策事業債や学校再編に係る国の補助金等を利用する予定ですが、そのためには事前に計画立てて整備する必要があります。蒲池、昭代校区については、小中学校の校舎が隣接していることから比較的少ない投資で整備できますが、それ以降の新設校については国の補助等財源が必要であり、すぐに整備することが難しいため、今回のスケジュールとなっています。	なし
30	Ⅱ 基本的な考え方	3再編基準(4)学校施設の設備	トイレ	全ての改築においてなのですが、トイレの改築は全学校において進めて欲しいです。昭和から平成、令和になり、学校以外で和式をみることもなくなりました。和式のせいで子供はお腹が痛くても家までガマンしたりしています。経験の為なのかわかりませんが、日常生活においても今後も和式の必要性が見出せません。改築の中にトイレの改修を組み込んで頂くことを強く熱望致します。長々となりましたが、よろしくお願い致します。	現在、トイレの洋式化は随時進めているところです。学校によっては、現在の生徒数に比べてトイレの数が多いため、通常使われていない教室に近いトイレは改修できていない事例もあります。引き続き、子どもたちが快適に過ごせる学校環境の整備に取り組んでいきたいと考えており、再編後も、計画的に改築等を進めていく予定です。	なし
31	Ⅱ 基本的な考え方	3再編基準(4)学校施設の設備	4(施設の概要) 5(小学校・中学校)	各学校の総延床面積が表示されています。面積はどの部分を含んだ数値ですか？建物の用途別に構造・規模を表示下さい。又倉庫・渡り廊下・自転車置場・運動場・屋内運動場の面積表示も！検討の参考資料の為に。	総延床面積は、校舎(管理棟・教室棟・給食棟)や屋内運動場などの床面積の合計です。	なし
32	Ⅱ 基本的な考え方	4学校再編協議会(仮称)の設置	12((3)柳南小学校)	北原白秋先生は、多くの小中学校から校歌の作詞依頼を受けていますが、真っ先に母校である「矢留小学校校歌」と「応援歌」の二編を仕上げ、どちらも山田耕祐先生の作曲をそろえて寄贈されています。そして、白秋作、耕祐曲の校歌、応援歌を一つの学校で所有しているのは日本で唯一、矢留小学校のみです。学校再編により、白秋先生の母校への思いが込められた校歌、応援歌を失うことは白秋先生の意に反するものであり、郷土愛の喪失へと繋がるものです。私自身このことは、柳川の堀を埋めることと同じレベルの問題だと考えます。どうか、日本で唯一である校歌、応援歌を存続させて頂くよう何卒ご検討をお願いしたい。	ご意見として承ります。校歌については、新設校ごとに設置される再編協議会(仮称)で協議する予定です。	なし
33	Ⅱ 基本的な考え方	4学校再編協議会(仮称)の設置	8(4学校再編協議会(仮称)の設置について)	保護者・地域住民、学校等の関係者で編成するようになっているが、重要で大事な人選はどの様に行きつむりか？今後の事がここに集約されると言っても過言ではない。明確な回答をお願いします。	新設校を構成する学校ごとに、保護者、地域住民、学校職員から代表者を複数名推薦していただく予定です。ほかの自治体の例では、保護者代表としてPTA会長、副会長等、地域代表として区長会長、公民館長等、学校代表として校長、教頭等が選出されることが多いようです。役職の指定は行わない予定です。各校区の実情に合わせて選出していただければと考えています。	なし

学校再編計画(案)についてのパブリックコメント意見一覧

No	区分1	区分2	該当ページ	意見・提言(概要)	市の考え	計画への反映
34	Ⅱ 基本的な考え方	4学校再編協議会(仮称)の設置	8(4学校再編協議会(仮称)の設置について)	コロナの影響でPTAの関係性が希薄になってきています。保護者からの選任を規約等に基づいて実施してほしい。例:開校時の6年生の保護者が入る等。	新設校を構成する学校ごとに、保護者、地域住民、学校職員から代表者を複数名推薦していただく予定です。各校区の実情に合わせて選出していただきたいので、役職等の指定は行わない予定ですが、ほかの自治体の例では、保護者代表としてはPTA会長、副会長等が選出されることが多いようです。	なし
35	Ⅱ 基本的な考え方	4学校再編協議会(仮称)の設置	14 (⑤再編協議会の設置について)	うちの子供は令和8年に三橋中に入学予定で、令和10年から大和中と三橋中との統合中学校へ通うことになります。統合中学校では、全ての生徒が同じ制服で通える方がトラブルも少なくなると思いますので、令和8年に三橋中へ入学する前に新しい制服ができていいと思います。柳川市の小学校と中学校それぞれで統一した制服にする方が、購入や再利用がしやすくなると思います。	中学校については、学校再編とは別に、ユニバーサルデザインで誰でも着用しやすい「標準服」の導入を検討しているところです。今後の標準服の導入時期と学校再編のスケジュールにもよりますが、新設の中学校において標準服を導入することで、以前の中学校で着ていた標準服をそのまま着用できることも考えられます。小学校の制服については、制服のない学校が半数近くのため、今のところ標準服の検討はしていません。なお、新設校の制服については、制服の有無を含め、できるだけ保護者の負担にならないよう再編協議会(仮称)で話し合う予定です。	なし
36	Ⅱ 基本的な考え方	4学校再編協議会(仮称)の設置	なし	制服ですか？私服ですか？在校生は今までと同じ制服を着用してよいのか？サイズマップで購入したいが、再編後、着用できないならば、購入を検討しないといけない。	P8「4 学校再編協議会(仮称)の設置」に記載しているとおり、新設校の制服は、再編協議会で話し合う内容の一つです。再編協議会では、制服の有無から話し合い、できるだけ保護者の負担にならない方向で検討していく予定です。なお、中学校については、学校再編とは別に、ユニバーサルデザインで誰でも着用しやすい「標準服」の導入を検討しています。今後の標準服の導入時期と学校再編のスケジュールにもよりますが、できるだけ保護者の負担が少なくなるよう検討していきます。	なし
37	Ⅱ 基本的な考え方	4学校再編協議会(仮称)の設置	(8(4学校再編協議会(仮称)の設置))	制服はその都度購入しなおさないといけないのかが分からない。		なし
38	Ⅱ 基本的な考え方	4学校再編協議会(仮称)の設置	制服	制服についても、中3、中2から一緒になる生徒等も考え、市で統一するのであれば早めに検討に入っていただきたいです。整備や、地域等の方も大事ですが、再編してその中で生活することになる子供達のことを一番に考えていただきたいです。		なし
39	Ⅱ 基本的な考え方	5通学方法・遠距離通学への対応	8 (5通学方法・遠距離通学への対応)	スクールバスは各校区2～3カ所程度の停留所の設置を希望します。1カ所では自宅から停留所までが遠い場合もあり、総移動時間が長い上に朝かなり早く出発しなければならず、児童の負担が大きいのと思われます。	バスの台数やかかる時間、運ぶ人数など様々な条件を検討した上で、集落ごとの拠点や旧小学校などに適切な数の停留所を設置できるよう、再編協議会(仮称)で協議していく予定です。	なし
40	Ⅱ 基本的な考え方	5通学方法・遠距離通学への対応	8 (5通学方法・遠距離通学への対応)	スクールバスは各停留所に最低2回以上は乗車の機会を設けてください。1回きりでは乗り遅れるかもしれないという精神的不安が懸念されます。児童は時計を持ち歩いておらず、そもそも特に低学年は時間の感覚が乏しいです。また、1回きりの場合にはそれに合わせて児童が家を出発しなければならず保護者の出勤時間の都合と合わない可能性があります。(学校は早めについても問題ありませんでしたが屋外で長時間バスを待たせるわけにはいきません)	詳しい運行計画は、再編協議会(仮称)で検討しますが、基本的には、1つの停留所を朝夕1便ずつスクールバスが回る予定です。また、停留所やそこまでの通学路の安全対策についても協議する予定にしています。	なし
41	Ⅱ 基本的な考え方	5通学方法・遠距離通学への対応	8(5通学方法)	小学生は徒歩での登下校が望ましく思います。バスでの登下校となると体力の低下や運動不足になりますので。ただでさえ、ゲーム環境の時代で運動からかけ離れていっているのに…。	スクールバスの具体的な運行計画は、それぞれの地域の事情を考慮し、新設校ごとに設置する再編協議会(仮称)にて決定する予定です。ご意見については、参考にします。	なし
42	Ⅱ 基本的な考え方	5通学方法・遠距離通学への対応	(8(5通学方法・遠距離通学への対応))	スクールバスはあるのか。	P8「5通学方法・遠距離通学への対応」に記載しているとおり、答申に基づき、小学校において通学距離2km超の場合、通学方法としてスクールバスを検討します。具体的には、それぞれの地域の事情を考慮するため、新設校ごとに設置する再編協議会(仮称)にて決定する予定です。	なし

学校再編計画(案)についてのパブリックコメント意見一覧

No	区分1	区分2	該当ページ	意見・提言(概要)	市の考え	計画への反映
43	Ⅱ 基本的な考え方	5通学方法・遠距離通学への対応	8(5通学方法)	2kmは長いと思います。中島校区以外はスクールバスでの通学を求めます。	答申に基づき、小学校において通学距離2km超の場合、通学方法としてスクールバスを検討します。具体的には、それぞれの地域の事情を考慮するため、新設校ごとに設置する再編協議会(仮称)にて決定する予定です。	なし
44	Ⅱ 基本的な考え方	5通学方法・遠距離通学への対応	その他	送迎バスに園児降ろし忘れ2件。北海道では、小学校送迎バス(注:宿泊研修時の観光バス)児童置忘れ。しかも小5ひとり…。大和合併したらバス通になるけどぜったい柳川でも起こりそう。バスの運転手に子供の命を預けたくない!!	スクールバスの具体的な運行計画は、それぞれの地域の事情を考慮し、新設校ごとに設置する再編協議会(仮称)にて決定する予定です。ご意見については、参考にします。	なし
45	Ⅱ 基本的な考え方	5通学方法・遠距離通学への対応	8(5通学方法・遠距離通学への対応)	通学距離が概ね2kmを超える場合とありますが、1、2年生において重いランドセルを背中に、片手には水筒、片手には下げ袋を持ち歩く姿はヨチヨチペンギンです。低学年対策はないのか? 過保護はダメ。見て見ぬふりですか。悪路、歩道段差でつまづき両手に荷物で怪我をする。何かでとっさの対応が出来ずに怪我。誰が責任を持つか。子供だけの責任か。低学年生の安全・安心通路を選定した上での距離であってほしい。手を振りながら手荷物を持たない姿で登下校して欲しいが…。何とかありませんかね、自己防衛の為。	スクールバスの具体的な運行計画は、それぞれの地域の事情を考慮し、新設校ごとに設置する再編協議会(仮称)にて決定する予定です。ご意見については、参考にします。	なし
46	Ⅱ 基本的な考え方	5通学方法・遠距離通学への対応	8(5通学方法・遠距離通学への対応)	公共交通機関(電車・バス)の活用を検討して欲しい。公共交通の維持のためにも。遠距離になった中学生には通学定期を補助してもいいのでは。		
47	Ⅱ 基本的な考え方	5通学方法・遠距離通学への対応	8(5通学方法・遠距離通学への対応)	小学校の通学方法については、スクールバスも検討すると思いますが、これは徒歩での通学は無理な距離についての校区設定もあり得ると考えての結果だと認識致しました。小生などの時代は徒歩での通学が普通で、このことは子ども達の将来に、非常に大事な意味を持つものだと考えます。といいますが、雨の日や風の日も毎日徒歩で通学するという積み重ねは、子供たちに辛抱する習性を、自然と体に覚え込ませることになり、これがいろんな創意工夫のアイデアを、実現へと導くために通過する途中の努力期間で大いに役立つはずで。天才の発明なども、多くは背景にある努力に裏付けられています。日本や地域の将来を考えたとき、着実に物事を進める原動力になりうる、体に染み込んだ辛抱する力というものは、子ども達の将来に大いに役立つはずで。これまでの慣例を取り払っての再編ということですので、子供たちのことを第一に考えての再編にさせていただくために、小学校は徒歩で通学できる範囲を中心に据えた校区の再編にさせていただきたく存じます。薩摩藩には、「山坂達者」という教育方針があって、日頃から足腰の鍛錬をし、へこたれない強い体力と精神力を養ったことが、明治維新での大きな活躍を成し遂げた原動力となったといえます。知・徳・体のバランスで、最近では体に問題が見えてきたといわれ、オリンピック女子フルマラソンでメダルを獲得し、日体大客員教授でもある森裕子さんから聞いた話でも、まず選手の基礎体力づくりからはじめないといけないような現状だとのこと。推測される、これからの厳しい社会情勢を考えると、ぜひ教育的に大事だと思われる徒歩で通学できるような位置にある小学校建設を希望致します。その意味では、今後の生徒数減少を見越しての、柳川、城内、東宮永および矢留、両開全域のなかでの校区の線引きの見直しが必要ともいえるでしょう。以前の柳南中学校の例ですが、道路ひとつ挟んだお家の校区の通学先が柳城中学校ということに驚いたことがあります。今回は大人の事情ではなく、子供たちのことを第一に考えての校区再編を成し遂げてもらいたいものです。	スクールバスを乗降する停留所は、集落ごとの拠点や旧小学校などに適切な数を設置する予定にしており、具体的な運行計画は、それぞれの地域の事情を考慮し、新設校ごとに設置する再編協議会(仮称)にて決定する予定です。ご意見については参考にします。	なし

学校再編計画(案)についてのパブリックコメント意見一覧

No	区分1	区分2	該当ページ	意見・提言(概要)	市の考え	計画への反映
48	Ⅱ 基本的な考え方	5通学方法・遠距離通学への対応	8(5通学方法・遠距離通学への対応)	小学校低学年の子供が1.5～1.9km歩いて通学するのは体方面、防犯面からも心配です。低学年について、スクールバスは希望制にしてほしいです。	スクールバスの運行を含めた通学方法については、それぞれの地域の事情を考慮し、新設校ごとに設置する再編協議会(仮称)にて決定する予定です。ご意見については、参考にします。	なし
49	Ⅱ 基本的な考え方	5通学方法・遠距離通学への対応	8(5通学方法・遠距離通学への対応)	説明会の際に、通学時間は30分程になっているとの事でしたが、現在(中山校区から)三橋中へ行くのにも20～30分かかっているのに、豊原周辺まで30分で通うというのはかなり厳しいかと思えます。(特に女の子はムリです)スクールバスを出して下さい!!実際に自転車まで走って確認して下さい!!	柳川市立学校適正規模・適正配置化検討委員会に諮問した「柳川市立小・中学校の今後の在り方について」の答申において、望ましい通学条件としては、徒歩や自転車による通学では小学校で概ね2km、中学校で概ね4km、また、スクールバス等の交通手段を利用することし、通学時間は概ね30分以内が目安とされました。新設中学校への通学距離においては4km超の場所もありますが、自転車にて概ね30分で通学できる範囲の生徒がほとんどという状況です。そのため、中学校は原則として徒歩または自転車としています。しかしながら、大幅に遠くなる場合には、今後、新設校ごとに組織する再編協議会(仮称)にて、交通手段を検討したいと考えています。	あり(P8「5通学方法・遠距離通学への対応②中学校」に追記)
50	Ⅱ 基本的な考え方	5通学方法・遠距離通学への対応	8(5通学方法・遠距離通学への対応)	中学校の通学方法が原則、徒歩または自転車とありますが、6キロ以上もあり、スクールバスがあれば助かります。男子なら体力的にさほど心配しませんが、女子は防犯の面も考えると心配です。	中学校は原則として徒歩または自転車としています。大幅に遠くなる場合には、今後、新設校ごとに組織する再編協議会(仮称)にて、交通手段を検討したいと考えています。	あり(P8「5通学方法・遠距離通学への対応②中学校」に追記)
51	Ⅱ 基本的な考え方	5通学方法・遠距離通学への対応	8(5通学方法・遠距離通学への対応)	通学距離については、新設の小学校からの距離が地図上に範囲を提示して説明がなされてない為に、ほとんどの父兄や市民は把握してない。各学校からの距離を学校毎に地図上で明らかにしてほしい。中学校については、同心円で距離を表示してほしい。	答申に基づき、小学校において通学距離2km超の場合、通学方法としてスクールバスを検討するところですが、具体的には、それぞれの地域の事情を考慮するため、新設校ごとに設置する再編協議会(仮称)にて決定する予定であり、直線距離のみで判断するわけではありません。	なし
52	Ⅱ 基本的な考え方	5通学方法・遠距離通学への対応	8 4学校再編協議会(仮称)の設置 5通学方法・遠距離通学への対応	細かいラインを決めるのは難しいですが、おおよそ2kmとされているなら、現案でバス利用者が何人になるのかを把握されないのですか？人数がわかれば何人乗りのバスが何台必要かが概算できると思います。そうならば、駐車場や少なくとも学校付近の乗車方法が検討できます。これは、学校再編協議会ではなく、その前に検討すべき議案では？	答申に基づき、小学校において通学距離2km超の場合、通学方法としてスクールバスを検討していくところですが、具体的には、それぞれの地域の事情を考慮して決定します。そのため、新設校ごとに設置する再編協議会(仮称)にて、スクールバスの乗車基準を決定する予定です。また、(仮称)大和小以外の新設小学校は、令和12年度以降の開校のため、対象人数を算出するとしても、おおまかな推定児童数に現在の分布割合を乗じることしかできませんので、誤差が大きいと考えています。	なし
53	Ⅱ 基本的な考え方	5通学方法・遠距離通学への対応	8(5通学方法・遠距離通学への対応)	中島小学校に変わると、沿岸道路を渡って、細い歩道もない自動車がギリギリ離合する道を小学低学年が通学するのは心配です。その辺の配慮をお願いします。		
54	Ⅱ 基本的な考え方	5通学方法・遠距離通学への対応	8 5通学方法・遠距離通学への対応	道路管理者や警察等との協議とされていますが、これも決定前に議論されるべきでは？特に中島小付近の道路は狭く、さらに毎日バスも通ることになることをどうお考えですか？	ご意見として承ります。児童生徒の通行量が特に多い道路については、各道路管理者に要望し、開校時やその後も含め、改善へ向けての協議をしていきます。また、新設校ごとに設置する再編協議会(仮称)にて、スクールバスの運行方法について協議する際には、各地域の事情を踏まえて検討する予定です。	なし
55	Ⅱ 基本的な考え方	5通学方法・遠距離通学への対応	その他	東宮永から登校する子の立場になって城内小学校まで実際歩いてみてください。朝の登校時間、通勤通学バスの往来は多い。歩道整備がされていない所が多い。雨の日、荷物の多い日、あの道を歩いていく子がかわいそうです。道路の整備、通学路の安全性を考えて頂きたいです。		

学校再編計画(案)についてのパブリックコメント意見一覧

No	区分1	区分2	該当ページ	意見・提言(概要)	市の考え	計画への反映
56	Ⅱ 基本的な考え方	5通学方法・遠距離通学への対応	8(5通学方法)	中島小学校の通学路は道がせまいのにスクールバスが運行できるのでしょうか？徒歩で行く子供達もいるのに、せまい道をスクールバスや保護者が送り迎えする車が通るのに安全は確保できるんですか？	新設校ごとに設置する再編協議会(仮称)で、運動会や授業参観などの学校行事の開催方法や学童保育、スクールバスの運行方法等の課題を検討していきたいと考えています。	なし
57	Ⅱ 基本的な考え方	6学童保育について	9(学童保育について)	同居とはいえ、皆、働いている為、今後も(下の子等も)利用したいので、統合しても入りやすい様をお願いしたいです。	学童保育の利用要件に該当し、利用を希望される方については受け入れられるよう、新設校における学童保育所の整備を進めていく予定です。どのように設置するかについては、今後、学童保育を担当する子育て支援課が保護者等の意見を踏まえ検討していくとともに、再編協議会(仮称)でも協議する予定にしています。	あり(P9「6学童保育」)に追記)
58	Ⅱ 基本的な考え方	6学童保育について	9(6学童保育について)	お迎えの時間に保護者の車が集中するため、駐車場は十分な数の確保をお願いいたします。児童だけでなく下のお子さん連れでのお迎えも多く、スムーズに入庫ができなければ非常に危険です。現状の学童保育所では児童30人に対して最大7台が停まることがありますので40台程度が必要かと思えます。なお、中島小学校付近は交通量が多いことを考えると、事故防止のため学童保育所のすぐ近くに駐車場を設けていただきたいです。		
59	Ⅱ 基本的な考え方	6学童保育について	9(6学童保育について)	旧大和町地区の再編先に予定されている中島小学校は、運動場が狭く、教室の数も特別教室を普通教室に切り替えて使用する方針が説明され、特別教室も満足に確保できるかの説明もあっていない状況で、学童保育に使用できる教室がない。教師の通勤車両の駐車場も確保が難しい中、どこに設置するのかを早急に明らかにしてほしい。		
60	Ⅱ 基本的な考え方	6学童保育について	9 6学童保育	まずは、今の学童利用者をすべて把握されましたか？それを基に、合併後の学校で、学童の定員として何人可能なのか、設備は教室はどの程度必要で、学校内に建設可能なんですか？学童がなければ保護者は働けません。最低でも今の学童の定員を維持することが確認できて決定してください。そのために子育て支援課との連携は必須だと思います。	学童保育については、入所を希望する方が利用できるように整備していくとともに、送迎時の安全対策なども行っていく予定です。学童保育を担当する子育て支援課が中心となって検討していきますが、新設校ごとに設置する再編協議会(仮称)でも協議する予定です。	あり(P9「6学童保育」)に追記)
61	Ⅱ 基本的な考え方	6学童保育について	8(3(4)学校施設の整備 9(6学童保育)	学校内に学童がないのは困ります。子どもの送迎、子ども達付き合いの心配 安心安全の学校に預けれるという魅力がなくなります。敷地が足りないので運動場にプレハブで、という意見を聞いたが、そしたらクラブ活動や運動会はどうなりますか？小学校を合併する前に学校の設備、敷地、人数を確認して欲しいです。		
62	Ⅱ 基本的な考え方	6学童保育について	9(6学童保育)	再編した学校の校舎内又は敷地内の設置が望ましく、学校と連携、加え保健室等もあり様々な面で利点があると回答。現中島小学校に新たな施設は難しく、その時は他の学校校舎に設置しスクールバス移動もあり、回答の曖昧な所が多い。だから後にも述べるが、現中島小に4校、現六合小に2校にすれば、諸問題の軽減に繋って行く。真摯に検討の余地あり。保護者の多様化する生活基準がどの様に反映されるかが議題でもある。		
63	Ⅱ 基本的な考え方	7地域への対応について	9(7地域への対応について)	1学校1コミュニティ・スクールが原則と思われるので、旧大和町や旧三橋町では、小学校単位に再編されると思われるが、説明会では全く触れられてないので、多くの方が今まで通りのコミュニティ・スクール運営がなされると考えている。 1学校に複数のコミュニティ・スクールが存在するのか。	1つの学校において、1つのコミュニティスクールを運営していく予定です。今までの地域コミュニティはそのままに、複数の地域コミュニティが連携し、1つの学校を支えていきます。	なし

学校再編計画(案)についてのパブリックコメント意見一覧

No	区分1	区分2	該当ページ	意見・提言(概要)	市の考え	計画への反映
64	Ⅱ 基本的な考え方	7地域への対応について	9 7地域への対応	地域の特徴ある活動を行なっているとのことですが、公民館活動でも各校区で年間2～10個の活動がされています。校区が合併すると一番多い大和地区では公民館活動だけで25個の活動を行うこととなります。これに伝統行事や子ども会の活動、PTAの活動が加わるとなると、子どもや地域への負担は増すのでは？コミュニティが守られるとは思えません。総務課、生涯学習課と連携をとり、今の活動数と同じくらいの活動数で行ける方法を検討されてからの決定では？	今までの地域コミュニティ・公民館活動は、そのまま現在の校区ごとに行いつつ、複数の地域が連携して、1つの学校を支えていく予定です。今後、それぞれの構成団体である子ども会や交通安全協会等が必要に応じて統合されていく可能性はありますが、学校の再編と同時に統合を求める予定はありません。	なし
65	Ⅱ 基本的な考え方	8学校跡地の活用	9 (8学校跡地の活用について)	豊原小学校については、新中学校が予定されているため、部活等で使用が全くなくなる。 現在校区民祭りや、体育行事等その使用頻度は高く、代替え施設を探すことは誠に困難である。多くの事業は、地域の絆育成のため必要不可欠であるが、社会教育を担う部署としてどのように対応する考えですか。	P9にあるとおり、今後の学校跡地の活用については、地域の意見、要望を踏まえ、市全体で協議していきたいと考えています。ほかの跡地も別の用途で利用されることが考えられることから、現在学校施設を使用している指定避難所や社会教育活動についても今後検討していく予定です。	なし
66	Ⅱ 基本的な考え方	8学校跡地の活用	9 (8学校跡地の活用について)	柳川市における第2次避難所は、現在27カ所あり、内訳としては、小学校19校、中学校6校、その他2カ所ですが、今回の小中学校再編計画により、小学校14校が廃校となる予定であり、そうすると第2次避難所は、13カ所と半減されることとなります。第2次避難所の見直しも検討されているのでしょうか。 現在、有明小学校は有明校区唯一の第2次避難所として存在しております。有明小学校の校舎がなくなれば、有明校区内の第2次避難所が消滅することとなりますが、これは有明校区民に対する防災対策の軽視となるのではないのでしょうか。柳川市としては、有明小学校に代わる第2次避難場所の確保を検討しておられるのでしょうか。 なお、有明校区以外にも同様の地区があると思料されることから、包括的な対応策を示していただくことを希望いたします。 第1時避難場所として有明コミュニティセンターがありますが、大地震や高潮等による大規模災害等の場合は、対応できないと思われます。 また、学校跡地の活用について、その活用が決まるまでの間の跡地については、これまで同様地域の行事等で利用できるよう努めるということですが、その間の維持管理については、市の方で責任を持って対応していただけるのでしょうか。 例えば、これまで使用してきた体育館を使用する場合の用具類、運動場を使用する場合の用具類などについては、今後も使用できるのでしょうか。小学校の移転と同時に処分されることになるのでしょうか。 地域の活動の際に使用を継続したいものについての譲り受けなどはできるのでしょうか。	P9にあるとおり、今後の学校跡地の活用については、地域の意見、要望を踏まえ、市全体で協議していきたいと考えています。ほかの跡地も別の用途で利用されることが考えられることから、現在学校施設を使用している指定避難所や社会教育活動についても今後検討していく予定です。	なし
67	Ⅱ 基本的な考え方	8学校跡地の活用	9 (8学校跡地の活用について)	今回の小学校の統廃合に伴って、各地域における子供たちの遊びの場は、大きく減少すると思います。私自身も小学校時代の遊び場といえば、学校の校庭でした。これからは、スクールバスで通うほど遠くの小学校に通う子供たちも多くなり、通学している小学校の校庭で遊ぶというわけにはいかないと思います。そこで、現在の小学校跡地を公園にして頂くことを要望します。(個人的には柳河小学校跡地を特に要望します。) 我々が、小中学校時代遊びまわった校庭は無くなりますが、代わりとなる自然豊で安心して子供たちが遊べる場所(公園)を少しでも増やして、子供たちが地域の中でのびのびと成長でき、子育てのしやすい柳川を目指して、小中学校再編計画を進めて頂くことを、これからの子育て世代として期待しています。よろしくお願い致します。	P9にあるとおり、今後の学校跡地の活用については、地域の意見、要望を踏まえ、市全体で協議していきたいと考えています。ご意見として承ります。	なし

学校再編計画(案)についてのパブリックコメント意見一覧

No	区分1	区分2	該当ページ	意見・提言(概要)	市の考え	計画への反映
68	Ⅱ 基本的な考え方	8学校跡地の活用	9(8学校跡地の活用)	活用が決まるまでの跡地は、これまで同様地域の行事等で利用出来るとあるが、豊原小学校は中学校に移行の為に活用出来ない。 この問題で豊原小学校、地域の方々、公民館を含めてどの様に説明致しますか？回答をお願い致します。 (仮称)大和・三橋中を先行する事で、時間・予算・ムダな経費・諸問題が軽減。	P9にあるとおり、今後の学校跡地の活用については、地域の意見、要望を踏まえ、市全体で協議していきたいと考えています。ほかの跡地も別の用途で利用されることが考えられることから、現在学校施設を使用している指定避難所や社会教育活動についても今後検討していく予定です。	なし
69	Ⅱ 基本的な考え方	10義務教育学校の導入	9(義務教育学校の導入について)	昭代と蒲池のみが何故、義務教育学校となる特性があるのか。小中連携はどの学校でも必要です。15歳の中3(9年生)と7歳の小1(1年生)が同じ敷地で学ぶことの教育効果についてこの2地域で導入する意味の説明が十分とは言えない。便宜的な感じがします。この両地域のみでどのような連携の効果を期待して学校施設建設などの予算投入をするのかも説明が必要ではないでしょうか。タテの連携も重要なが、これまでの地域の歴史的な経過も生かした、学校間連携すなわちココの連携も考慮した方が良いのではないのでしょうか。	ご指摘のとおり、小中の連携は大切であり、全ての小中学校で取り組んでいるところです。今回、蒲池・昭代校区にて義務教育学校を取り入れるのは、小中連携だけが理由ではありません。蒲池、昭代校区は、隣接する校区と統合するのが難しい地形で、小学校同士、中学校同士を合併して、横に広げることができません。そこで、小学校と中学校を合併し、縦に広げ9年制にすることで学級数を確保したいと考え、義務教育学校として再編することにしました。これにより、一定規模の教職員集団を確保できるようになり、他の校区と同様に教育環境の充実を図ることができます。加えて、蒲池、昭代校区においては小中学校の校舎が隣接し、義務教育学校を作るのに適した条件があり、施設整備に関して少ない投資で実現することができます。	なし
70	Ⅱ 基本的な考え方	10義務教育学校の導入	7(3(2)目指すべき学級数について(中学校))	昭代と蒲池は義務教育学校にするといっても、適正規模1学年3クラスを満たせません。R10年度の試算では昭代中181人、蒲池中158人、柳南+柳城中421人、三橋+大和中731人、となります。中学校ごとの規模の差が大きくなります。特に部活に影響するのでは？	義務教育学校は、小学校と中学校を統合することで、それぞれが小規模であっても、9年制にすることで学校全体として学級数を確保できることがメリットのひとつです。これにより一定規模の教職員集団を確保し、小学校同士や中学校同士で再編する他の校区と同様に、教育環境の充実を図ることができるようになります。また、部活についても、義務教育学校では、小学校高学年から練習に参加することで、活性化することが可能です(ただし、小学生は中体連等の公式の大会には参加できません)。	なし
71	Ⅱ 基本的な考え方	10義務教育学校の導入	9(10義務教育学校)	三橋中と大和中が一緒になるのは、反対です。遠すぎます。範囲が広すぎだと思います。三橋と大和もそれぞれ小中一貫校で良いです。	旧大和町地区の小中学校を義務教育学校とする場合、児童生徒数が1学年2~3クラス見込むことができ、現大和中の施設規模では入りきれません。また、旧三橋町地区については、藤吉小は再編の対象になっていませんので、小学校2校と中学校1校の一貫校とすることになり、施設整備や連携方法等を含めて実現が難しいため、採用していません。	なし
72	Ⅱ 基本的な考え方	10義務教育学校の導入	16((仮称)蒲池学校 児童生徒数及び学級数の推移予測について)	蒲池小の令和8年(2026年)の児童数289(学級数11)令和10年(2028年)児童数266(学級数10)。1学年1学級が予測され再編計画の適正規模「1学年2~3学級」が守られないことになるのではないかと。		
73	Ⅱ 基本的な考え方	10義務教育学校の導入	16,17(義務教育学校について)	P7に小中学校の通常学級適正規模の記載があるが、蒲池小学校と蒲池及び昭代中学校の6年後(推計)R10(2028)の学級数が少なく、適正規模を満たしていない。したがって、(仮称)蒲池学校と、(仮称)昭代学校との統合を提案させていただきたい。学校の位置は、(仮称)昭代学校が良いと思う。現昭代第一小学校は、部活動等のサブグラウンドとして活用できる。蒲池小学校の児童の大多数は、スクールバスでの通学になる見込みであることから、安全は確保できると思われる。ご検討をお願いいたします。	義務教育学校は、小学校と中学校を統合することで、それぞれが小規模であっても、9年制にすることで学校全体として学級数を確保できることがメリットのひとつです。これにより一定規模の教職員集団を確保し、小学校同士や中学校同士で再編する他の校区と同様に、教育環境の充実を図ることができるようになります。	なし

学校再編計画(案)についてのパブリックコメント意見一覧

No	区分1	区分2	該当ページ	意見・提言(概要)	市の考え	計画への反映
74	Ⅲ小中学校再編計画	1大和小	10 (②学校の位置)	<p>なぜ、中島小学校を改修して仮移転をする必要があるのか。 運動場は、旧町内では3番目の広さ、学校周辺道路は、ハザードマップによれば、50cmの冠水地帯 緊急時の学童引き渡しの際には、400台を超える車が集中すれば、周辺道路はかなりの渋滞が予測でき、幅員も4m程度しかない。 現在、プールは漏水がひどく使用できない状況を改善するには、多額の改修費が必要と思われるが予算の規模も全く積算開示されていない。教室を含む全ての改修費は、概算どの程度になるのか。 職員用駐車場の確保も十分でない中、中島小学校に一時移転ではなく、現大和中学校への移転を考えるべきではないか。</p>	<p>大和・三橋中の統合中学校が開校するためには、まず豊原小が移転する必要があります。そして、大和中が完成した統合中学校に移転した後、校舎の小学校用への改修を経て、豊原小を含む旧大和町6小学校が現大和中に移動できるようになります。したがって、豊原小は一旦大和中以外に移転する必要がありますので、6校全てが一回だけで大和中に移転することは不可能です。また、6小学校の中に、このままでは複式学級になる学校が複数含まれることから、複式学級をできるだけ早く解消するため、大和中の改修が終わり移転できるようになるまで、旧大和町で一番教室数が多い中島小に仮移転するものです。</p>	なし
75	Ⅲ小中学校再編計画	1大和小	8 3(3)通学距離	<p>大和校区はR7年度開校で児童数1122人で学校数は19クラスになります。中島小の利用可能教室は21クラスで、教室の大幅な増設が必要と思われる。周辺道路は狭く、バスや保護者送迎、また、学童のお迎えを考えると非常に不憫です。そもそも中島小に学童を整備可能なんですか？</p>	<p>令和7年度時点の(仮称)大和小は561人、19クラスの予想ですが、その後、学級数は減少していくと見込まれています。開校時には必要な教室を確保するために、特別教室を改修する予定です。また、学童保育については、入所を希望する方が利用できるよう、学童保育を担当する子育て支援課と連携し、新設校ごとに設置する再編協議会(仮称)でも検討する予定です。</p>	なし
76	Ⅲ小中学校再編計画	1大和小	10 ②学校の位置	<p>一回中島に入るのはいかがでしょうか？1度に「大和小」ができる方がよい。</p>	<p>豊原小が移転しなければ大和中・三橋中の統合中学校が開校できませんので、旧大和町地区の6校全てが1回で大和中に移転することは不可能です。また、6小学校の中に、複式学級になる学年が複数含まれることから、複式学級をできるだけ早く解消するために、大和中の改修が終わり移転できるようになるまで、旧大和町で一番教室数が多い中島小に仮移転するものです。</p>	なし
77	Ⅲ小中学校再編計画	1大和小	p7,10,18,19 ・基本的な考え方 ・小中学校再編計画 ・再編表、スケジュール	<ul style="list-style-type: none"> ・学校合併には基本的に賛成だが、今の計画では現実性に欠けるのではないか？ ・コロナ禍で行事が少なく、豊原小学校の保護者の顔もよく分からない中、合併することに不安がある。 ・合併前後の担任の先生、管理職間での児童の情報引き継ぎ・共有を徹底して欲しい。 ・合併前に学校間での交流を持つ場を設けてほしい。 ・制服について、各家庭や児童の考え方や状況によって多様な意見があると思うので、出来るだけ多様な選択がとれるようにしてもらいたい。(1年生で入学して翌年合併になった場合、制服の場合また購入の可能性がある) ・基本的に情報がまったく入ってこないため新聞などのメディアで初めて知ることがほとんどなのでもう少し情報共有して欲しい。 ・学校再編の説明会も自由参加ではなく、学校単位でその地域ごとの現場の意見を取り入れてもらいたい。 ・子供の人数が減少しているため、学校再編はしなければならぬと思い、反対、賛成いろいろあり大変だとは思いますが頑張って頂きたい。 	<p>ご意見として承り、今後、児童生徒や保護者ができるだけ不安を軽減できるよう、丁寧に情報発信しながら進めていきたいと考えています。なお、制服については、新設校ごとに設置される再編協議会(仮称)で、制服の有無を含め、できるだけ保護者の負担にならない方向で検討していく予定です。</p>	なし

学校再編計画(案)についてのパブリックコメント意見一覧

No	区分1	区分2	該当ページ	意見・提言(概要)	市の考え	計画への反映
78	Ⅲ小中学校再編計画	1大和小	p8,9,10,19 ・通学区、方法、学童、編成スケジュールについて	<ul style="list-style-type: none"> ・中島小学校に6校集約は厳しいのではないかと？ ・中島小学校の校舎は大分古いと聞いているが仮校舎改修費に使うよりは新築費に充てたほうがよくないだろうか？ ・中島小学校付近は道が狭く事故が多く、住民の方にご迷惑かけていると聞くと、6校集約した場合緊急引渡し時や運動会、授業参観等学校行事で交通量が増えるのだから今よりも状況が悪化するのとは明白であるのだからその点を近隣住民の方への説明、理解は得られているのか？ ・毎日スクールバスを運行するのだから何台も用意できるのか？少ない台数での運行だと最初と最後でかなりの時間の差が生じるのでは？そのための人員の確保も必要では？ ・学校の駐車場の確保はどうなるのか？学校行事の時はかなりの数になるが停める所は正直見当たらない。 ・近隣に駐車場などのために広い土地などをお借りするようなことを聞いたが周辺にそのような土地は見当たらない。 ・現小学3年生などの例で例えると小学6年生で合併、中学3年生で合併、心の面で心配である。 ・学童についてですが、運動場に学童を建設しても集約できるとは考えにくい。 ・学童を中島小学校から離れた場に建設し、スクールバスで移動するという事も検討しているようだが、その場合、子供がバスを乗り間違える、乗り遅れるという事がないようにしてほしい。 ・学童を利用するのは殆どが低学年であるだろうから、事故がないように考案して欲しい。 ・やはり新中学校を別土地に建ててもらい順々に移ってもらいたいと思うのが実情である。大和町の小学生だけ6年も仮校舎というのは非常に酷である。 ・1度に6校よりも2校ずつの3校、3校ずつの2校などで対応してもよいので ・土地購入など大和、三橋地区だけ行えば他の地区も購入してくれとなる恐れがあるのも理解しておりますが、他の地域では3年以内に再編終わるのに対して倍の6年かかるのであれば柔軟な対応してもらいたいという思いもある。 ・土地購入に時間を使って再編時期が延長になっても仮校舎期間を少なくして欲しい。入学して卒業まで仮校舎になる学年もでてる。 	<p>今回の計画は、旧大和町地区の6小学校の中に、複式学級になる学年が複数含まれることから、複式学級をできるだけ早く解消するために、大和中の改修が終わり移転できるようになるまで、旧大和町で一番教室数が多い中島小に仮移転するものです。今後、新設校ごとに設置する再編協議会(仮称)で、運動会や授業参観などの学校行事の開催方法や学童保育、スクールバスの運行方法等の課題を検討していきたいと考えています。</p>	なし
79	Ⅲ小中学校再編計画	1大和小	(10((1)(仮称)大和小学校))	<p>教科書以外の教育、グローバル化への対応、多くの経験の積み重ね等、教育の中で必要とされる事だと思っておりますが、それらは全て今現在が通常の教育、行事等がが出来る事が前提だと思っております。私も教育の向上のためにも合併は必要だと思っておりますが、今は時期ではないと思っております。合併を考えるのは、今の学校生活が以前のように戻った後のことだと思っております。私の娘は小学3年生ですが、コロナにより、2ヶ月自宅で過ごした後、2ヶ月遅れの6月に入学し、勉強面、メンタル面で苦労しています。今でもコロナにより、学校に行けなかったり、学級閉鎖になったりと大変なときを過ごしています。入学してからずっと、この子達は私たちが経験してきた楽しい学校生活を知りません。運動会、遠足、その他の行事も少なく、本当にかわいそうです。このような中、合併すれば、コロナ感染のリスクも高くなり、ますます行事がなくなるという事がないかも不安に思います。また、水害の面でも海が近い中島に行く事にも反対です。まずは、人数の少ない有明と皿垣の合併ではいけないのでしょうか？コロナで苦労している子供達ですが、その中でも笑顔で頑張っています。今は環境を変えてほしくないと考えています。合併の時期をよく考えていただきたいです。子供たちの心身を一番に考えて欲しいと思っております。</p>	<p>思いもかけないコロナ禍で、学校生活にも様々なご心配、ご苦労があったことと推察いたします。さて、説明会でいただいたご意見を反映し、計画全体を1年間先に延長しました。最初に再編を予定している(仮称)大和小においては、令和7年度の開校まで2年半あります。ご意見を参考に、今後、児童生徒や保護者ができるだけ不安を軽減できるよう、再編協議会(仮称)で十分検討し、丁寧に情報発信しながら進めていきたいと考えています。</p>	なし

学校再編計画(案)についてのパブリックコメント意見一覧

No	区分1	区分2	該当ページ	意見・提言(概要)	市の考え	計画への反映
80	Ⅲ小中学校再編計画	1大和小	10(2学校の位置)	道路がせますぎるし駐車場がない。事故等につながる可能性。	ご意見として承ります。新設校ごとに設置する再編協議会(仮称)で、運動会や授業参観などの学校行事の開催方法や学童保育、スクールバスの運行方法等の課題を検討していきたいと考えています。	なし
81	Ⅲ小中学校再編計画	1大和小	19(1スケジュール)	先に中学校を建てた方が、スケジュール、子供、金銭的にも合理的だと思う。	今回の計画は、6小学校の中に、複式学級になる学年が複数含まれることから、複式学級をできるだけ早く解消するために、大和中の改修が終わり移転できるようになるまで、旧大和町で一番教室数が多い中島小に仮移転するものです。	なし
82	Ⅲ小中学校再編計画	1大和小	10(小学校再編計画)	なぜ大和だけ2回引越しやるのかをくわしくおしえてほしい。保護者、地域の人が意見いったけど、答えになってない。1クラス40人…コロナが流行しているのにすぐ学級閉鎖!!合併よりコロナのことを考えてくれたら!!	先に大和中が統合中学校に移転しなければ、旧大和町6小学校が現大和中に移転することができません。また、6小学校の中に、複式学級になる学年が複数含まれることから、複式学級をできるだけ早く解消するために、大和中の改修が終わり移転できるようになるまで、旧大和町で一番教室数が多い中島小に仮移転するものです。	なし
83	Ⅲ小中学校再編計画	1大和小	10((1)(仮称)大和小学校)	(1)(仮称)大和小学校を2校に再編する。(仮称)大和第1小学校と(仮称)大和第2小学校に再編。第1小学校の対象校は中島小・血垣小・有明小・大和小の4校。第2小学校の対象校は六合小・豊原小の2校。開校時R7推移表では6校の再編約の児童数は561名。第1小学校の生徒数309名。第2小学校は生徒数252名となる。委員会が進める複式学級は2～3年は守れると思うが、主は学童保育や登下校等の地域環境を含めた整備費用や諸問題を軽減するため。R7年度からR12年度期間だけの問題。	2校および4校で統合した後、最終的に6校で統合する場合、子どもたちが新しい学校に通うことができるよう準備する必要がありますので、まず、2校統合校と4校統合校の新しい校名、教育方針等のすべての協議事項を話し合う必要があり、最終的に、2校統合、4校統合、6校統合と3回に渡って再編協議が必要で、どれも省略することはできません。子どもたちも短期間で2回以上学校名や同級生の顔ぶれ等の学校環境が変わり、大きな負担になります。また、教室や学童保育等の改修も3校分必要になります。	なし
84	Ⅲ小中学校再編計画	1大和小	10(2学校の位置) 10(3通学区域、) 10(4施設整備)	柳川市大和町中島68番地(現中島小学校)と柳川市大和町六合1661-1(現六合小学校)とする。令和13年度から～移転予定は同文。区域は中島小学校区域、血垣小学校区域、有明小学校区域、大和小学校区域、六合小学校区域、豊原小学校区域とする。施設整備の最初の文章で、現中島小学校の後に現六合小学校を記載する。整備では、現中島小もR13年度には閉校になる561名の生徒数より309名の数の整備が、財政的に良く、周辺環境整備は保育園や病院・共同墓地・家屋密集・海苔業者小屋等又通学路が狭くてトラブル発生が頻発し安心、安全確保が保てない。整備する所も多く有る。(検討すればまだ多く、6年間で整備すら出来ない状況に)	2校および4校で統合した後、最終的に6校で統合する場合、子どもたちが新しい学校に通うことができるよう準備する必要がありますので、まず、2校統合校と4校統合校の新しい校名、教育方針等のすべての協議事項を話し合う必要があり、最終的に、2校統合、4校統合、6校統合と3回に渡って再編協議が必要で、どれも省略することはできません。子どもたちも短期間で2回以上学校名や同級生の顔ぶれ等の学校環境が変わり、大きな負担になります。また、教室や学童保育等の改修も3校分必要になります。	なし
85	Ⅲ小中学校再編計画	1大和小	10(2学校の位置) 10(3通学区域、) 10(4施設整備)	柳川市の内水氾濫ハザードマップでは、浸水地域に指定。近所の方々からも浸水時の状況を聞いています。豪雨災害が頻発している昨今早めの帰宅対策だけの問題ではない。送迎は誰が、車輛は、親は仕事で都合つかず、緊急時対策はどの様に、又家庭の混乱を起こし、不安をあおっては何にもならない。短期間でも手抜きは子供達に悪影響を与える様では、学習の場の充実を図る事も再編の一端ではあるはず。現六合小周辺環境や道路は他校区より安心、安全性は有るように考える。現中島小へのリスクを減し、現六合小でカバー。教育委員会の見解は如何に！	旧大和町地区6小学校及び大和中については、7校全て浸水区域内にあり、50cm以上の浸水区域に該当するのは中島小、六合小、有明小の3校、残り4校が50cm未満であり、中島小と六合小での危険度に大きな違いはありません。今後、新設校ごとに設置する再編協議会(仮称)で、風水害の対応を含め、学童保育やスクールバスの運行方法等の課題を検討していきたいと考えています。	なし

学校再編計画(案)についてのパブリックコメント意見一覧

No	区分1	区分2	該当ページ	意見・提言(概要)	市の考え	計画への反映
86	Ⅲ小中学校再編計画	1大和小	19(1スケジュール)	(仮称)大和小学校を(仮称)第1小学校と(仮称)第2小学校に分離致します。 ※(自作の図を記載している。内容は(仮称)大和第1小学校及び大和第2小学校の再編協議をR4後半から開始し、R7開校。大和中と三橋中との統合中学校は計画案の場所に新築。再編協議をR5後半から開始し、R10開校。)	2校および4校で統合した後、最終的に6校で統合する場合、子どもたちが新しい学校に通うことができるよう準備する必要がありますので、まず、2校統合校と4校統合校の新しい校名、教育方針等のすべての協議事項を話し合う必要があります。最終的に、2校統合、4校統合、6校統合と3回に渡って再編協議が必要で、どれも省略することはできません。子どもたちも短期間で2回以上学校名や同級生の顔ぶれ等の学校環境が変わり、大きな負担になります。また、教室や学童保育等の改修も3校分必要になります。	なし
87	Ⅲ小中学校再編計画	1大和小	10((1)(仮称)大和小学校)	R7で児童数561人とありますが、この大人数で、学校のイベント、運動会などはできるのでしょうか？そんなに広い体育館、運動場なのでしょうか？	新設校ごとに設置する再編協議会(仮称)で、運動会や授業参観などの学校行事の開催方法や学童保育、スクールバスの運行方法等の課題を検討していきたいと考えています。	なし
88	Ⅲ小中学校再編計画	1大和小	10((1)(仮称)大和小学校)	R7で児童数561人を大雨や地震、災害時の時すみやかに保護者に安全に引き渡し出来るんですか？通学路もせまく、保護者の車は大渋滞になるのではないのでしょうか？		
89	Ⅲ小中学校再編計画	1大和小	10((1)(仮称)大和小学校)	児童数が少ない皿垣小学校、有明小学校、大和小学校の3校合併だけでよいのではないのでしょうか？現大和中を小学校用に改築してから6校合併でもいいのではないのでしょうか？	豊原小が移転しなければ大和中・三橋中の統合中学校が開校できません。したがって、まずは4校での統合となりますが、皿垣・有明・大和小学校のうちには、豊原小学校を含めた4校が入り切れる校舎がありません。したがって、中島小を含め5校統合を検討することになり、六小小を単独で残すメリットが乏しいため、6校統合が最適であると考えています。	なし
90	Ⅲ小中学校再編計画	1大和小	8(3(4)学校施設の整備 10(1小学校の再編計画)	R7.4月～現中島小学校に6校集約する計画ですが、教室の確保は出来るそうですが、運動会等保護者が来校しないといけない場合の駐車場対応はしっかり考えてほしいです。	ご意見として承ります。新設校ごとに設置する再編協議会(仮称)で、運動会や授業参観などの学校行事の開催方法や学童保育、スクールバスの運行方法等の課題を検討していきたいと考えています。	なし
91	Ⅲ小中学校再編計画	2柳城小	11 (仮称)柳城小学校)	令和4年度の各小学校の児童数は柳河小194名、城内小185名、東宮永小181名の計560名となっています。同じく学童保育所に通う児童は、柳河小52名、城内小48名、東宮永小51名で合計151名となっています。また、柳河・城内・東宮永小学校の6年後統合された時の児童数合計は461名と推計されています。 このように、再編計画(案)のとおり統合されると、児童数は現在の2.5倍、また、学童保育所に通う児童数も約2.5倍になることが予想されます。しかしながら、現城内小学校(柳城小学校予定地)の校地面積は13,573㎡で、現状のまま、児童数、学童利用者数が約2.5倍となることは、校舎・体育館・プール・学童施設などの大幅な改修、移転などが必要となってくると思われます。 このような現状であるにもかかわらず、城内小学校は市中心部にあり、周辺は民家・工場等が密集して、校地面積を広げることはかなり難しい状況です。これらのことから、柳城小学校への再編については、統合は2校が妥当と思われるのですが、計画どおり3校統合となる場合は、児童数の大幅増加に対応できる校地面積の拡充や学校施設の適正配置及び学童保育施設についても整備をお願いします。	柳河小・城内小・東宮永小からなる(仮称)柳城小は、クラス数が現在の2.3倍、また、学童保育の対象である1～3年生の児童数が現在の2.3倍になる予定です。(仮称)柳城小の予定地である現城内小にはそのままでは入らないため、増築を基本として整備する方針です。また、3年後に、矢留小・両開小からなる(仮称)柳南小について再度検討する予定にしていますので、その際には、(仮称)柳城小についても、再編する学校の数や再編後の学校位置を再検討する可能性があります。	なし
92	Ⅲ小中学校再編計画	2柳城小	なし (小学校について)	(仮称)柳城小は、城内小を予定してあるが、560人の児童が使うには運動場、校舎ともに狭すぎるのでは。	(仮称)柳城小の予定地である現城内小にはそのままでは入らないため、増築を基本として整備する方針です。また、3年後に、矢留小・両開小からなる(仮称)柳南小について再度検討する予定にしていますので、その際には、(仮称)柳城小についても、再編する学校の数や再編後の学校位置を再検討する可能性があります。	なし

学校再編計画(案)についてのパブリックコメント意見一覧

No	区分1	区分2	該当ページ	意見・提言(概要)	市の考え	計画への反映
93	Ⅲ小中学校再編計画	3柳南小	7 (3(1)目指すべき学級数について(小学校))	(仮)柳南小は計画案の内容でR7年度から1年生が1クラスになります。適正規模を維持するために校区が目の前の東宮永小学校をなぜ合併しないのですか？東宮永を柳南小にすると(仮)柳城小が1クラスになりますが、そちらに矢ヶ部小を柳城小に合併すれば適正規模を維持できると思います。バスの運用距離も短くなり経費削減にもなります。	(仮称)柳南小については、3年後の令和7年度を目途に再度検討する予定です。なお、矢ヶ部小については、ニッ河小・垂見小・中山小の3校のみでは今後1学年1クラスとなり、(仮称)三橋小が適正規模を維持することが難しくなってしまうので、矢ヶ部小は(仮称)三橋小への再編を計画しています。	なし
94	Ⅲ小中学校再編計画	3柳南小	12 小中学校再編計画の見直し	はっきり言って甘い考えです。R7年度から(仮称)柳南中学校は1クラスになることがわかっています。適正規模を確保する計画といいながら、3年後すら確保できません。見直しは今です。		
95	Ⅲ小中学校再編計画	3柳南小	なし (小学校について)	東宮永小学校区の児童は校区にある統廃合の小学校になぜ通えないのか。両開小と統廃合し、将来、1クラスが見込まれるなら、大和地区の小学校1~2校か加え統廃合するのはどうか。	3年後の令和7年度に、矢留小・両開小からなる(仮称)柳南小について再度検討する予定にしています。その際には、(仮称)柳城小についても、再編する学校の数や再編後の学校位置を再検討する可能性があることから、影響の大きさから考えて、できるだけ見通しが立った時点でやりたいと考えています。	なし
96	Ⅲ小中学校再編計画	3柳南小	11((仮称)柳城小学校の再編計画について) 12((仮称)柳南小学校の再編計画について)	P7に、小学校の適正規模は、通常学級で1学年2学級~3学級、全学年で12学級~18学級を目指すとして記載されている。 (仮称)柳南小学校の6年後(推計)R10(2028)の再編後学級数は8で、適正規模を満たしていない。したがって、(仮称)柳城小学校との統合を提案させていただきたい。学校の位置は、現城内小学校で良いと思う。 (仮称)柳南小学校が、開校数年後に学校再編の対象校とならないよう、ご検討をお願いいたします。		
97	Ⅲ小中学校再編計画	4三橋小	13 ((仮称)三橋小学校)	矢ヶ部小学校は藤吉小学校と合併した方が通学距離を考えると良さそうですが、そういった意見は無いのでしょうか。三橋小学校の人数が増える方が良いとは思いますが、矢ヶ部小学校区域の方の気持ちを考えるとどうなのかな...と。	(仮称)三橋小について、ニッ河小・垂見小・中山小の3校のみでは、今後1学年1学級になると予測されるため、学校再編により1学年2~3学級の小学校にするという目的の達成が難しいところです。また、矢ヶ部小を藤吉小と統合すると、全ての学年が3学級になると見込まれ、現在の藤吉小の校舎では教室が足りません。以上の理由から、矢ヶ部小・ニッ河小・垂見小・中山小の4校での再編としています。矢ヶ部校区から(仮称)三橋小までの通学距離については、スクールバス等を利用することで、安全かつ時間内に児童が登下校できるよう、新設校が開校する前に時間をかけて学校再編協議会(仮称)で検討していく予定です。	なし
98	Ⅲ小中学校再編計画	4三橋小	13 (対象校について)	市の資料によれば藤吉小学校は三橋地区小学校再編8年後、令和21年以降の新生から単学級となる。そうした中、藤吉小を残したいのであれば、隣接する矢ヶ部小学校と統合すべきではないか。現在の計画では、矢ヶ部小学校の児童は遠く離れた現三橋中学校まで通学しなければならない。市はスクールバスを運行するというが、近くに小学校があるのに何故遠くまで通学しなければならないのか。又、小学校は地域コミュニティの場であり矢ヶ部小学校と統合することにより地理的にも一体感をつくり出すことができる。	平成30年度に策定された柳川市人口ビジョン(第2期)において、藤吉校区は駅前開発以前のデータに基づいて算出されていることから、現在の人口より少なく見積もられており、令和10年度以降も藤吉小は2クラスを維持すると見込んでいます。そのため、矢ヶ部小と藤吉小を統合する場合、全ての学年が3学級になると見込まれ、現在の藤吉小の校舎では教室が足りません。また、ニッ河小・垂見小・中山小の3校のみでは、今後1学年1学級になると予測されるため、学校再編により1学年2~3学級の小学校にするという目的の達成が難しいところです。以上の理由から、今回の計画を策定してるところです。	なし
99	Ⅲ小中学校再編計画	4三橋小	なし (小学校について)	「藤吉小は現状のまま」の案は評価できる。	ご意見ありがとうございます。	なし

学校再編計画(案)についてのパブリックコメント意見一覧

No	区分1	区分2	該当ページ	意見・提言(概要)	市の考え	計画への反映
100	Ⅲ小中学校再編計画	4三橋小	8(3(3)通学距離)	旧コミュニティ三橋地区5つの小学校が集まる事になっていた所、藤吉だけ独立しました。矢ヶ部地区の子は藤吉小校区を通り過ぎてなぜ三橋中の位置の小学校まで行かないといけないのですか？藤吉小から2kmの円内、城内小から2kmの円内に矢ヶ部地区は入り、バス利用することなく通える子がほとんどです。どちらかの小学校に行く方がいいのではないですか？そんなに旧三橋で集まるのが大事ですか？	(仮称)三橋小について、ニッ河小・垂見小・中山小の3校のみでは、今後1学年1学級になると予測されるため、学校再編により1学年2～3学級の小学校にするという目的の達成が難しいところです。また、矢ヶ部小を藤吉小と統合すると、全ての学年が3学級になると見込まれ、現在の藤吉小の校舎では教室が足りません。なお、城内小については、3年後の(仮称)柳南小の再検討に伴い、学校位置が変更になる可能性があります。地域コミュニティへの影響もありますが、その他様々な要件も勘案した上で、今回の組み合わせとしてしているところです。	なし
101	Ⅲ小中学校再編計画	5大和三橋統合中	14 (1)大和中と三橋中の統合中学校)	周辺用地を取得して校舎、屋内・屋外運動場、生徒の自転車置き場、職員の駐車場の設置が必要と思われるが、現在拡張できる用地は、約11,800㎡、その東側を購入するためには、水路と道路の付け替えが必要となる。購入しても、運動場は現三橋中学校より狭くなるし、現在、大和中学校は隣のB&G武道場、グラウンド、テニスコートを活用し、三橋中学校も隣の武道場、テニスコートを使用して、実際の運動場より広く活用している。 又、現校舎や体育館などを撤去する費用や工事期間中の大型車両による国道208号の渋滞、豊原小跡地を確保するための中島小学校への一時移転、これに伴う費用などを、国道443バイパス東側に土地を確保し、新設した場合との財政面での比較検討、移転後の生徒の通学の安全性、自転車道が整備される国道443バイパスと、拡張はできない国道208号との比較検討、柳川警察等との協議等をオープン提示し、生徒・保護者へのアンケートなど、きめ細かい検討が必要ではないか。	大和中と三橋中の統合中学校については、現豊原小もしくはその周辺で用地が確保できればと考えているところです。財源問題等を総合的に考えた時に、旧大和町地区であれば過疎対策事業債を利用できることも理由のひとつです。	なし
102	Ⅲ小中学校再編計画	5大和三橋統合中	三橋と大和の統合中学校について	校区が広すぎる。子供たちの登下校での事件・事故のリスクが高くなることの配慮が全く考えてない上、無責任で体裁だけの統廃合になってしまっている。		なし
103	Ⅲ小中学校再編計画	5大和三橋統合中	(14((1)大和中と三橋中の統合中学校))	柳南中学校と柳城中学校が統廃合した中学校とのクラス数・生徒数とを比べると、2倍の数になる為、同じ規模になるように組み合わせを再検討すべき。(別紙に例えの組合せ案あり)	三橋中は今のところ、生徒の大幅な減少が見込まれていないところですが、大和中は生徒数が大きく減る見込みです。そのため、大和中だけでは小規模校になってしまうことから、三橋中と統合することで中学校としての学校規模を確保したいと考えています。	なし
104	Ⅲ小中学校再編計画	5大和三橋統合中	(14((1)大和中と三橋中の統合中学校))	三橋中学校は、単独でも柳南中学校と柳城中学校が統廃合した中学校よりもクラス数・生徒数が多く、12クラスが維持出来る見込みであることから、統廃合する必要は無い。		
105	Ⅲ小中学校再編計画	5大和三橋統合中	なし (中学校について)	三橋中は柳城中と柳南中の統廃合した中学校とよりもクラス数・生徒数が多い。12クラスが維持される見込みなのに統廃合する必要があるのか。また、校区が広すぎる。自転車でも通学困難な生徒が出てくるのでは。		
106	Ⅲ小中学校再編計画	5大和三橋統合中	なし (中学校について)	三橋中・大和中の統廃合の中学校は柳南中と柳城中の統廃合した中学校とのクラス数・生徒数と比べると倍の数になる。統廃合するなら同じぐらいの規模になるように組み合わせを再検討すべきでは。	三橋中は今のところ、生徒の大幅な減少が見込まれていないところですが、大和中は生徒数が大きく減る見込みです。そのため、大和中だけでは小規模校になってしまうことから、三橋中と統合することで中学校としての学校規模を確保したいと考えています。柳城中と柳南中の統合中学校については、地理的に大和中と統合が難しく、昭代・蒲池校区については義務教育学校であることから、現在の計画案としています。	なし

学校再編計画(案)についてのパブリックコメント意見一覧

No	区分1	区分2	該当ページ	意見・提言(概要)	市の考え	計画への反映
107	Ⅲ小中学校再編計画	5大和三橋統合中	なし (中学校について)	藤吉小は柳南中と柳城中の統廃合した中学校に通学するのはどうか。	3年後の令和7年度に、矢留小・両開小からなる(仮称)柳南小について見直しする予定にしています。見直しする場合には、柳城中と柳南中の統合中学校についても、再編後の学校位置を再検討する可能性があることから、統合中学校が藤吉小から遠くなる可能性があります。	なし
108	Ⅲ小中学校再編計画	5大和三橋統合中	14(②学校の位置) 14(⑤学校再編協議会)	中学校(生徒数)に必要な全体面積や各施設の規模が分かれば概算建設予算を算定する。(不動産取得も含める)現豊原小学校隣接地で可能か?又豊原校区443号バイパスに近い所に新設中学校を建設した方が費用も含め、検討される。 不動産用地を含めた概算金額が算定していなければ双方対比が出来ない。難題も多くあるので、検討するのに時間が掛かる。教育委員会の対処対応は。 上記の事も含め、令和7年度設置では遅いと思う。小学校と中学校の協議会では規模も違う。どの様に検討して行くのか回答して下さい。	大和中和三橋中の統合中学校については、現豊原小もしくはその周辺で用地が確保できればと考えているところです。財源問題等を総合的に考えた時に、旧大和町地区であれば過疎対策事業債を利用できることも理由のひとつです。	なし
109	Ⅲ小中学校再編計画	6柳城柳南統合中	15(柳城中と柳南中との統合中学校について)	柳城中学校の敷地は、かつて柳川城の本丸でした。この度の学校再編を機に、柳城中を廃校とし、埋蔵文化財の発掘調査や石垣及び堀の復元工事を行うことを提案いたします。もし、発掘調査で貴重な遺物が発見されて、石垣や堀が忠実に再現できれば、将来、県指定文化財になる可能性はあると思います。個人的には、その後、国の名勝である掘割に編入されて格上げになることを期待しています。今後のNHK大河ドラマ招致活動に弾みをつけるためにも、ぜひ取り組んでいただきたい。統合中学校の位置は、現柳南中学校で良いと思う。ご検討をお願いいたします。	ご意見として承ります。	なし
110	Ⅲ小中学校再編計画	7蒲池学校	16((仮称)蒲池学校④施設設備について)	「屋内運動場」については現状の蒲池小学校体育館、蒲池中学校体育館で狭いので、現状より規模が大きい新体育館をぜひ建設してほしい。	ご意見として承り、今後、児童生徒にとってよりよい教育環境となるよう検討してまいります。	なし
111	4その他	1説明会・パブリックコメント	なし	複数回の説明会を実施いただきましたが、夜と祝日だったため子どもを預けられず出席出来なかったとの声を、未就学児をもつ保護者から複数聞いております。保育園での説明会の実施をお願いいたします。	学校再編計画(案)に対する説明会は、各公民館・コミセン等において5月9日から7月24日にかけて、平日夜37回、日曜午前午後2回、祝日午前午後2回の計41回実施し、866名の方に出席していただきました。現在、この説明会で出た質問や要望を踏まえて、修正した計画案に対するパブリックコメントを実施しており、今後、学校再編計画を決定し、具体的な再編協議に入る予定にしています。引き続き、未就学児を含めた保護者や地域住民に向けて、学校再編計画や再編協議会で検討した内容などの情報提供を行ってまいります。	なし
112	4その他	1説明会・パブリックコメント	なし	PTA説明会及び一般への説明会は、会場ごとに意見が発表されているが、参加者はコロナ対策で把握されているので、保護者説明会の参加率、一般説明会の参加率を明らかにしてほしい。 ほとんどの会場での答弁は持ち帰って検討、パブリックコメントに反映しますとの事であったが、藤吉小が統合から外れた事が反映された程度と感ずる。各会場20~30名の参加で、2時間程度の説明会で保護者及び住民説明は十分とするのは、あまりにも拙速と言わざるを得ないのではないかと。 又、柳川市は今後新しい公共施設は作らない方針との説明であったが、市民文化会館、子育て施設は、今後の柳川を担う人材育成のためと市長も言われているので、新しい教育施設は、今後100年の郷土を担う人材育成の為に投下すべきであって、6年間一時使用をする中島小学校への財政投資こそが、無駄な投資と考える。	学校再編計画に係る説明会の参加人数については、柳川市公式サイトにて公表しています。参加率については、保護者説明会に中学校の保護者や地域住民が含まれたり、ご家族で参加されている場合もあるので、比較するのが難しいところです。なお、保護者向け説明会の参加者を小学校の保護者数で単純に割ったところでは、参加率は8%~77%と校区によってかなり幅があります。 また、施設整備については、学校を再編する時点では、できるだけ既存の設備を活用したいと考えていますが、その後、計画的に改築等を進めていく予定であり、新しい学校に必要な資金を投資していきます。	なし

学校再編計画(案)についてのパブリックコメント意見一覧

No	区分1	区分2	該当ページ	意見・提言(概要)	市の考え	計画への反映
113	4その他	1説明会・パブリックコメント	なし	<p>大和地区6小学校合併、大和三橋中学校合併には基本的には賛成である。</p> <p>しかし、柳川市で一番大きな合併が、計画発表から説明会、決定までの期間がわずか半年というのは異常に短いのではないかと。</p> <p>また、このコロナの時期に住民の何%が説明会に参加したのだろうか。せめて小学校低学年の保護者すべてには説明会資料を配布されたのだろうか。</p> <p>説明会に出席して驚いたのが、具体的な資料がなかったことだ。中島小学校、豊原小学校の教室数、敷地面積、また近隣の地図も必要だと考える。スクールバスの発着場、教職員の駐車場、保護者の車の駐車場が実際に確保できるのか、説明に現実性が乏しい。学校行事以外にも毎年のように児童緊急引渡しが行われている。多くの保護者の車が小学校に集まるのが小学校近隣の住民の理解を得られているのか。</p> <p>次に、予算の問題だ。この再編にどのくらいの金額が必要で、柳川市の負担がどのくらいなのか。また、6校合併するための中島小学校改修にどのくらいの金額をかけるのか。6年しか使わない小学校をどこまで改修するのか。6年しか使わないが、6年は入学して卒業するまでの年月でもある。子供たちの安心・安全を守るためにどこまでできるのか、具体的な提示があって欲しかった。</p> <p>6校一度に合併するよりも3校ずつなど段階を経てできないかとの質問に、子供の負担を考え一度が最善との答えだったが、子供は入学卒業と人との出会いと別れを繰り返し成長していく。その環境を整えてあげることこそが最善である。再編が一度であることは行政にとって負担が減ることは確かであるが。</p> <p>何よりこの再編が三橋・大和中の合併が大前提であるのに、三橋校区の方々との意見交換ができていない。反対意見はないのだろうかと不安になる。</p> <p>今、コロナ感染が爆発的に増えている状況で再編を急ぐより、再度、いや何度でも説明会を開いてもらいじっくりと話を伺いたい。</p>	<p>今回の学校再編計画については、令和2年2月に柳川市立学校適正規模・適正配置化検討委員会に「柳川市立小・中学校の今後の在り方について」について諮問したことから始まり、令和3年3月にその答申が行われ、以降検討を重ね、計画案の説明会を経て、現在パブリックコメントに至ったところです。説明会への参加率については、8%～77%と校区によってかなり幅があります。周知については、広報やながわ5月1日15日合併号で学校再編及び説明会に関する記事を掲載したほか、各小中学校や保育園・幼稚園を通して保護者に案内しました。また、当市公式サイトで学校再編に関するページにて、当日の配布資料や質疑応答等が閲覧できます。なお、制服やスクールバスの運行計画など各新設校に関する具体的な内容については、学校再編計画が決定された後、再編協議会(仮称)で検討する予定です。引き続き、未就学児を含めた保護者や地域住民に向けて情報提供を行ってまいります。</p>	なし
114	4その他	1説明会・パブリックコメント	1(はじめに)説明会を実施して意見を聴取	<p>まだ足りないのでは？該当する保護者の意見をひろえてないと思います。説明会の案内は、小学校、中学校から配られました。この案によって建てられる学校に通う子達ではありません。保育園、幼稚園には後から配られ、聞きに行こうと思った時には、自分の地区の説明会が終わっている人も多くいました。また説明会の時間帯も、子供が家にいる時間帯です。子供が就寝する時間だったりします。誰かに子供をたくすのも難しいです。仕事復帰してる方も仕事の日程調整が必要です。もう少し早く配ったり、時間をかけるべきだったと思います。該当する保護者は日々幼い子をみています。その人たちが来やすい説明会、わかりやすい資料を配るなど、もっと周知して、意見を聞いて頂きたいです。</p>	<p>市報やながわ5月1日号の巻頭記事にて、学校再編及び説明会の開催についてお知らせし、5/9から7/24にかけて、平日夜37回、日曜及び祝日午前・午後4回の計41回説明会を実施しました。また、説明会の中で要望があったことから、6/7に保育所、幼稚園にご協力いただき保護者へチラシを配布したところ、水都で開催した6/19(日)以降も、多くの保護者等にご参加いただいたところです。時間が合わない方もおられたかと思いますが、チラシに載せているQRコードから、当日の配布資料や質疑応答等が掲載されたページが閲覧できるようになっております。引き続き、未就学児を含めた保護者や地域住民に向けて、学校再編計画や再編協議会(仮称)で検討した内容などの情報提供を行ってまいりますので、是非ご覧いただければと思います。</p>	なし
115	4その他	1説明会・パブリックコメント	なし 市報「9月末を目処に再編計画を決定」について	<p>10月2日に市議会議員選挙があり、新たな議会体制ができます。それ以前に計画を決定するというのは拙速ではないでしょうか。教育委員会の自立性は重要ですが、今回の再編計画は新施設の建設を含む大幅な予算をとまなうことが想定されます。予算は議会の審議に係るものですから、それまでに再編計画を決定してしまっておくというのは手続き上、如何なものでしょうか。教育は百年の計とも言われます。保護者・地域や市民の意見を十分汲み取って頂くようお願いします。</p>	<p>今回の学校再編計画は、再編の期間や手法、基準等を定めるものです。今後、新設校ごとに設置する再編協議会(仮称)で、学校、保護者、地域の関係者のご意見等を取り入れて、計画を進めていく予定です。</p>	なし

学校再編計画(案)についてのパブリックコメント意見一覧

No	区分1	区分2	該当ページ	意見・提言(概要)	市の考え	計画への反映
116	4その他	1説明会・パブリックコメント	なし	適正規模を満たすためといながらそれすら満たされていない、方向性から矛盾した計画です。決定を1年遅らせて、きちんと情報を集め議論してください。困るのは、子ども、保護者、そして地域の住民です。	適正な規模の学校となるように、現在の校区を組み合わせることで学校を再編する予定ですが、地理的な条件等で近隣の地区と統合が難しい蒲池・昭代地区については、義務教育学校を取り入れることで学校全体として適正規模を図ります。また、今後、規模が小さくなる可能性が高い矢留・両開校区については、3年後を目途に見直すことで、適正な学校規模と通学負担のバランスをとる予定にしており、これらの結果、全ての校区において適正な規模を図るという目的が達成できると考えています。	なし
117	4その他	1説明会・パブリックコメント	なし	住民説明会で出た意見を基に組み合わせ案修正案は1つではないので、多数の案を提示して意見を求めるべきであり、住民の意見が全く反映されていない。体裁の為の説明会に成っている。	パブリックコメントは、皆さまから寄せられたご意見などを案に取り入れることができるかどうかを検討し、寄せられた意見などに対する市の考え方や検討結果を公表する手続きです。したがって、いくつかの案を提示して、それに対する多数決をとるものではありませんので、ご了承ください。	なし
118	4その他	1説明会・パブリックコメント	なし(その他)	修正案は1つではなく、住民説明会で出た意見をもとに組み合わせの案を2～3案出し、住民に意見を求めるべきでは？(他市町村の統廃合で2、3案出したところがあったかと思う。)		
119	4その他	1説明会・パブリックコメント	なし(その他)	統廃合の組み合わせについて、住民説明会で出た意見がほとんど反映されていない。何のための説明会だったのか。また、今回のパブリックコメントも締め切りから再編計画決定までに半月しかない。集まった意見を集約・検討して、たった半月で決定できるものなのか。このことから、住民説明会もパブリックコメントも形だけではないかと疑念を抱く。現状のやり方では住民の理解を得られないのでは。	今回の学校再編計画については、令和2年2月に柳川市立学校適正規模・適正配置化検討委員会へ「柳川市立小・中学校の今後の在り方について」について諮問したことから始まり、令和3年3月にその答申が行われ、以降検討を重ね、計画案の説明会を経て、現在パブリックコメントに至ったところ。説明会で出された意見を検討した結果、計画全体を1年先に延長することや、適正規模を維持できる藤吉校区については再編しないなどの4点の修正を行いました。また、国のパブリックコメントでは、提出意見が10件以下の場合、意見提出期間の終了から命令等の公布まで2日、10件以上あった場合は14日を確保するとの運用をしていることから、特別に意見考慮期間が短いとは考えていません。	なし
120	4その他	2その他	なし	グローバル化という表現が(意見募集チラシの)冒頭にありましたが、この事については、ウェブ環境を活用する事が一つの要素だと思っています。なので、最初の取り組みとしては、早急にタブレットを活用し、オンライン授業を確立させて下さい。理由としては、コロナ禍や災害時の状況下で全く活用されていない現状です。児童生徒数の減少の対応策をスピードを持って対応しないといけないという事でしたら、スピードという部分では、インターネットの活用が最大重要事項だと感じております。	現在、児童生徒1人1台のタブレットを配布し、ICTを活用した授業を始めたところ。今後、このタブレットを使い、教室内だけでなく、家と学校の連携においても十分活用できるよう取り組んでいきたいと考えています。また、学校再編後は、学校が集約されることで、財政面や人材面でも効率化されることから、ICTを使った教育により力を入れていきます。	なし
121	4その他	2その他	8((4)学校施設の整備)	特別な配慮が必要な児童が増えていると思います。特別支援学級に在籍していてもパニックになった時、イライラした時など、落ちつくためのスペースが本当に必要な子もいます(落ちつけば、気持ちを切り替えることができ、引き続き学校で過ごせます)。現在通う小学校では空いた教室がありますが、ガラスで廊下から丸見えだったり、物置になっていたり、広すぎたりして、適切な部屋がありません。改築時に小さくていいので、安全な小部屋のようなスペースを考慮して作っていただけると、支援の必要な子ももっと安心して学校生活が送れるのは絶対だと思います。是非ご検討をお願いしたいです。	今後、児童生徒にとってよりよい教育環境となるよう検討してまいります。	なし
122	4その他	2その他	なし	多様性の時代 子供の性格やアレルギー 今はLGBT の問題まであります 先生も業務が山積みだとは思いますが 先生には子供を第一に 柔軟な教育をお願いします 具体的にはカウンセラーの設置 先生がクラスの問題を相談できるシステム 設置等	学校を再編統合し、一定の児童生徒、そして教職員を確保することで、よりよい教育環境を実現し、地域の子どもやその保護者が通わせたいと思うような学校づくりを行いたいと考えています。具体案は、ご意見として承ります。	なし

学校再編計画(案)についてのパブリックコメント意見一覧

No	区分1	区分2	該当ページ	意見・提言(概要)	市の考え	計画への反映
123	4その他	2その他	9 9学校再編にあ たつての特記事項	再編前の生徒の交流は書かれていますが、再編後のほうが問題が増えることが予想されます。スクールカウンセラーの常駐、スクールソーシャルワーカーの増加、校内適応指導教室の設置を要望します。	ご意見として承り、今後、児童生徒にとってよりよい教育環境となるよう努めてまいります。	なし
124	4その他	2その他	その他	柳南中学校にサッカー部を作っていただきたい。小学生の間サッカーをやっていますが、進学先の柳南中学校にサッカー部がない。(サッカーをやっている子が数名います)市内のサッカー部がある学校と合同の練習をさせていただきます。お願いします。	ご意見として承ります。	なし
125	4その他	2その他	2.3.4(表中の「年度」の文字について)	例えば、P10の「児童数及び学級数の推移予測」表中では、「区分」という文字を使用している。本(案)はみやま市立小中学校再編計画に関する資料を参考に作成されたと推測する。「年度」を「区分」に改めた方が、本(案)として良いように思える。	ご意見ありがとうございます。分かりやすいように、表中の記載を変更します。	斜線で区分して、「年度」「区分」を表示しました。
126	4その他	2その他	9(9学校再編にあ たつての配慮事 項)	再編後の子供達への校内生活環境が変わることに対して、子供達への心のケアを充実させてほしいです。	ご意見として承り、今後、児童生徒にとってよりよい教育環境となるよう検討してまいります。	なし